

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
<b>バレエ&amp;ダンス</b>			
アメリカン・バレエ・シアター『ジゼル』	26,27,28,29,30,	村娘ジゼルは農民に扮した公爵アルブレヒトに夢中。彼女を好きな森番ヒラリオンはアルブレヒトの素性を暴露する。さらにアルブレヒトに婚約者がいるとわかると、ジゼルは絶望のあまり死んでしまう。彼女の墓を訪れたアルブレヒトは精霊となったジゼルと再会するが・・。	[出演]カルラ・フラッチ(ジゼル)エリック・ブルーン(アルブレヒト)ブルース・マークス(ヒラリオン)トニ・ランダー(ミルタ)エレアノール・ダントウオノ&テッド・キヴィット(ペザント・パ・ド・ドゥ)アメリカン・バレエ・シアター
ウィーン国立バレエ2018『ペール・ギュント』	12,13,14,15,16,17,18,19,25	クルーグによるバレエ化によって、北欧の名作がイマジネーションの飛翔する舞台に! 個性豊かな名門・ウィーン国立バレエのダンサーたちがもたらす高揚と余韻	[出演] ヤコブ・フェイフェルリック(ペール・ギュント)アリーチェ・フィレンツェ(ソルヴェイグ)イーノ・ベシー(死神)ジヨルト・トロク(鹿)フランツィスカ・ヴァルナー=ホリネク(オーゼ)イオアンナ・アヴラアム(イングリット)ニキーシャ・フォゴ(緑の髪の娘)イザベラ・ルチア・セヴェリ(ヘルガ)ウラジミール・シシヨフ(アスラック)イゴール・ミロシュ(マツ)セリーヌ・ジャヌー・ヴェーバー(アノトラ)アンドラーシュ・ルカーチ(医者)ウィーン国立バレエ [振付・台本]エドワード・クルーグ[原作]ヘンリック・イブセンの詩劇『ペール・ギュント』[音楽]エドヴァルド・グリーグ[装置]マルコ・ヤベルイ[照明]トマシュ・プレムズル [衣裳]レオ・キュラス[指揮]サイモン・ヒューイット[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団、滝澤志乃(ピアノ) [収録]2018年 ウィーン国立歌劇場 [映像監督]バラージュ・デルボ ■ 約1時間54分
エルヴェ・クビ『蛮族たちの夜、あるいは世界の始まりの朝』	24	アルジェリア系フランス人の振付家が、自身のルーツを探求。北アフリカ出身の筋骨たくましい男性ダンサーたちが、いにしえの地中海世界を神秘的かつ厳かに舞う。	[出演]エルヴェ・クビ・カンパニー-[振付]エルヴェ・クビ [音楽]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト、ガブリエル・フォーレ、リヒャルト・ワーグナー、マクシム・ボドソン、アルジェリアの伝統音楽 [衣裳 & 宝飾デザイン]ギョーム・ガブリエル [照明]リオネル・ブゾニー [収録]2017年5月ニース国立劇場(フランス) [映像監督]パトリック・ラウゼ ■ 約1時間6分
シュレプファー & バレエ・アム・ライン『白鳥の湖』	24	次期ウィーン国立バレエ芸術監督マーティン・シュレプファー振付の衝撃の舞台! オデットの継母と祖父の対決! 果たしてオデットとジークフリートの運命は如何に?	[出演]マルコス・メンハ(ジークフリート)マルルシア・ド・アマラル(オデット)ホ・ヨンスン(オデットの継母)ソニー・ロクシン(ロットバルト)ヴァージニア・セガーラ・ヴィダル(ジークフリートの母)チドジー・ンゼレム(式部長)アレクサンドレ・シモエス(ベンノ)カミール・アンドリオ(オディール)ボリス・ランドツィオ(オデットの祖父)加藤優子、キム・ソヨン、中ノ目知章、エリック・ホワイト(継母の側近)バレエ・アム・ライン [振付]マーティン・シュレプファー [音楽]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー:バレエ『白鳥の湖』Op.20 [オリジナル台本]ウラディーミル・ベギチェフ&ワシリー・ゲルツァー [装置 & 衣裳]フローリアン・エッティ [照明]シュテファン・ホリガー [ドラマトウルギー]アンヌ・ド・バコ [指揮]アクセル・コーバー [演奏]デュッセルドルフ交響楽団 [収録]2018年デュッセルドルフ歌劇場(ドイツ) [映像監督]ペーター・シェーンホーファー ■ 全4幕: 2時間20分(番組枠)
ネザールランド・ダンス・シアター『輝夜姫』	5,9,17,25	大家キリアンが創造する、静謐で深遠なおとぎ話。東洋と西洋の交錯の間に生まれた、新しい「かくや姫」の世界。	[出演]フィオーナルミス(輝夜姫)ポール・ライトフット(帝)マルティン・ミューラー、ケン・オソラ、ヨハン・インガー、パトリック・デルクロワ、グレン・エジャートン(求婚者たち)カリーヌ・ギゾ、ブリギッテ・マルティン、リサ・ドレイク、スーザン・ララギー、カロリーナ・アルメンタ(村娘たち)ヨルマ・エロ、ブルース・ミケルソン(帝の騎士)ソル・レオン、ナンシー・ウーヴリンク、コーラ・ボス・クルーセ、フィリップ・バッキンガム、ロレイン・ブルーアン、ブルース・ミケルソン、ヨルマ・エロ、オーウェン・モンタギュー、イヴァン・ドゥブルイユ、ゼイン・ブッカー(貴族)[振付]イリ・キリアン [音楽]石井眞木:日本太鼓群と打楽器群のための交響的組曲『輝夜姫』Op.56 [装置&照明]ミチャエル・シモン [フェリアル・シモン] [指揮]石井眞木 [演奏]近藤克次(日本太鼓)ミチャエル・デ・ロー(パーカッション)サークル・パーカッション、八百谷啓(箏)芝祐晴(龍笛)角田眞美(龍笛)宮田まゆみ(笙) [収録]1993年12月ネザールランド・ダンスシアター・ホール(ハーグ) [映像監督]ハンス・フルシャー ■ 全2幕: 約1時間11分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーゼル市立バレエ『リーズの結婚』	29,30,31		<p>[振付]ハインツ・シュベルリ[原振付]ジャン・ドールヴァル[音楽]ルイ・ジョゼフ・フェルディナン・エロール、ピーター・ルートヴィヒ・ヘルテル  [指揮]ジョン・ランチベリー[演奏]ウィーン交響楽団[出演]ヴァレンティナ・コズロワ(リーズ)クリス・イエンセン(コーラ)オットー・リス(リーズの母)ヴェルナー・ヘンスラー(召使い)ハインツ・シュベルリ(アランの父)マルティン・シュレプファー(アラン)[映像収録]1986年8月25日～9月10日西ドイツ放送局スタジオ(ケルン)  [映像監督]ホセ・モンテ=バケ  ■全2幕/約1時間19分</p>
バレエ『鉛の夜』～ハンス・ヘニー・ヤーンの小説にもとづく	19,20,21,22,23,24,25	音楽を鬼才ハインツ・シュベルリと音楽映画の大家ペーター・ヴァイクルが映像化。	<p>[出演]リュボミール・カフカ(マチウ)マグダレーナ・ヴァシャリョーバ(エルヴィラ)ミハエル・ビーン(フランツ)ガポール・ケヴェハージ(天使)他[振付]ハインツ・シュベルリ[原作]ハンス・ヘニー・ヤーンの小説『鉛の夜』[音楽]ハンス=ユルゲン・フォン・ボーゼ[指揮]マティアス・バメルト[演奏]南西ドイツ放送交響楽団[監督]ペーター・ヴァイクル[制作]1985年  ■字幕/約1時間7分</p>
ベルリン州立バレエ2014『くるみ割り人形』	8,9,10,12,13,14	ヨーロッパ屈指のバレエ団が、クリスマスを彩る永遠の名作『くるみ割り人形』の“元祖”に立ち返る。初演時の振付・台本・美術・衣裳に基づくこだわりの複製版。	<p>[出演]ヤーナ・サレンコ(クララ&amp;金平糖の精)マリアン・ヴァルター(くるみ割り人形&amp;コクリューシ王子)ミハエル・パンツハフ(ドロッセルマイヤー)アルシャク・ガルミヤン(ネズミの王様)井関エレナ(少女のクララ)リヌス・シュミット(フリッツ)マルティン・シマンスキ(シルバーハウス)ゼブヌム・ギェルゼカー(シルバーハウス夫人)カイ・ケスナー(お祖父さん)ヴェレーナ・トゥルム(お祖母さん)ビルギット・ブルックス(乳母)アレクサンドル・シュバク(王子の人形)ヤーナ・パロワ(お姫様の人形)グラウバー・ルーカス・メンデス・シルヴァ(王子のくるみ割り人形)マルティナ・ベックマン(コクリューシ王子の母でお菓子の国の女王)ヴェロニカ・フロディマ、アナスタシア・クルコワ、イレニア・モンタニョーリ(コクリューシ王子の姉)サラ・メストロヴィッチ、タラス・ビレンコ、ドミニク・ホダル、アレクセイ・オルレンコ、ケヴィン・プザー(スペインの踊り)フェデリコ・スパリッタ、ソラヤ・ブルーノ、エリノル・ヤゴドニク、ヨルダン・ムリン、ゲオルゲータ・ヴァルヴァリッチ(アラビアの踊り)菅野茉莉奈、ヴラディスラフ・マリノフ(中国の踊り)アレクサンドル・シュバク(ロシアの踊り)ヤーナ・パロワ、マリア・ブンブーリ、リサ・プロイカー、マリア・ジャンボーナ、巢山葵(あし笛の踊り)マルティン・シマンスキ(マザー・ジンジャー)ベルリン州立バレエ団, ベルリン州立バレエ学校の生徒たち  [振付&amp;台本]ワシリー・メドヴェージェフ&amp;ユーリ・ブルラーカ[音楽]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー:バレエ『くるみ割り人形』Op.71[オリジナル台本]マリウス・プティパ[オリジナル振付]レフ・イワノフ[原作]エルンスト・テオドール・アマデウス・ホフマンの童話『くるみ割り人形とねずみの王様』  [美術]アンドレイ・ヴォイテンコ(初演版に基づく)[衣裳]タチアーナ・ノギノーワ(初演版に基づく)[指揮]ロベルト・ライマー[演奏]ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団&amp;同児童合唱団[収録]2014年12月15日&amp;26日ベルリン・ドイツ・オペラ[映像監督]アンディ・ゾマー  ■全2幕&amp;プロローグ:約1時間55分</p>
ポリショイ・バレエ2003『ファラオの娘』	22,23,24,26,27,28	タイムスリップした若き英国人探検家と美しい王女の波乱万丈の恋。マリウス・プティパの出世作を、ピエール・ラコットが巨大スケールで再現。	<p>[出演]スヴェトラナ・ザハロワ(アスピシア)セルゲイ・フィーリン(ウィルソン卿/タオール)マリーヤ・アレクサンドロワ(ラムゼ)ゲンナジー・ヤーニン(ジョン・ブル/パッシフォンテ)アンドレイ・シトニコフ(ファラオ)アンドレイ・メラーニン(ヌビア王)ドミトリー・グダノフ(漁師)インナ・ベトロヴァ(漁師の妻)ウラディーミル・モイセーエフ(ナイル神)岩田守弘(猿)ポリショイ・バレエ団  [振付・脚色・演出・装置・衣裳]ピエール・ラコット[オリジナル振付]マリウス・プティパ[オリジナル台本]ジュール=アンリ・ヴェルノワ・ド・サン=ジョルジュ、マリウス・プティパ[原作]テオドール・ゴーティエの小説『ミイラの物語』[照明]アレクサンダー・ルプツォフ[音楽]チェーザレ・プーニ[編曲&amp;指揮]アレクサンドル・ソトニコフ[演奏]ポリショイ劇場管弦楽団[収録]2003年10月27日・29日・31日ポリショイ劇場(モスクワ)[映像監督]デニス・カイオツィ  ■字幕/全3幕:約1時間43分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ポリシヨイ・バレエ2013『ラ・バヤデー』	5,6,7,8,9,10,11,12,18	ポリシヨイ・バレエの二大プリマ、ザハーロワとアレクサンドロワの豪華共演。マイムを極力控え、舞踊で物語がテンポよく展開するグリゴロヴィチ版は“見せ場”の連続。	[出演]スヴェトラナ・ザハーロワ(ニキヤ)ウラディスラフ・ラントラトフ(ソコロ)マリーヤ・アレクサンドロワ(ガムザッティ)アンドレイ・シトニコフ(高僧)アレクセイ・ロパレーヴィチ(ラジャ)デニス・メドヴェージェフ(黄金の像) [オリジナル振付]マリウス・ブティバ[追加振付]ワフタング・チャブキアーニ、ニコライ・ズブコフスキー、コンスタンティン・セルゲイエフ[振付改訂]ユーリー・グリゴロヴィチ[音楽]ルートヴィヒ・ミンクス[台本]マリウス・ブティバ、セルゲイ・クデコフ[台本改訂]ユーリー・グリゴロヴィチ[装置 & 衣裳]ニコライ・シャロノフ[照明]ミハイル・ソコロフ[指揮]パーヴェル・ソローキン[演奏]ポリシヨイ劇場管弦楽団[収録]2013年1月ポリシヨイ劇場(モスクワ)[映像監督]ヴァンサン・パタイオン ■全3幕：約2時間7分
ポリシヨイ・バレエ2014『マルコ・スパダ』	1,2,3,5,6,7	さすがポリシヨイ！物語を彩る素晴らしいダンサーの技量に目が釘付け。名匠ピエール・ラコットにより鮮やかに現代に蘇ったオーベールの古典バレエ。	[出演]デイヴィッド・ホールバーグ(マルコ・スパダ)エフゲーニヤ・オブラストワ(アンジェラ)オルガ・スミルノワ(サンピエトリ)セモン・チュージン(フェデリッチ公爵)イーゴリ・ツヴィルコ(ペピネリ伯爵)アレクセイ・ロパレーヴィチ(修道士ポロメオ)アンドレイ・シトニコフ(オサリオ侯爵)アナスタシア・スタシケヴィチ(花嫁)ヴァチスラフ・ロパーティン(花婿)ユリア・グレベンシュチコワ、オルガ・マルチェンコワ、アンナ・オクネワ、アンナ・チホミロワ(サンピエトリの友人)イワン・アレクセーエフ、アルテミー・ベリャコフ(マルコ・スパダの友人)ヤン・ゴドフスキー、アナスタシア・グバノワ、ダリア・ホフロワ、アルトゥール・ムクルトチャン、スヴェトラナ・パヴロワ、アレクサンドル・スモリヤニノフ(道化師)アリョーシャ・グラドワ、エリザヴェータ・クルテリョワ、ユリア・ルンキナ、スヴェトラナ・パヴロワ、アンナ・レベツカヤ、アンナ・ヴォロンコワ(使用人)アンナ・アントロポワ、アンナ・レオノワ、ヴィクトリア・リトヴィノワ、マリーヤ・ザルコワ、カリム・アブドゥーリン、エゴール・フロムシン、カリム・エフィーモフ、ドミトリー・エフレモフ(盗賊)ポリシヨイ・バレエ団[復元振付・装置・衣裳]ピエール・ラコット[音楽]ダニエル・フランソワ=エスプリ・オーベール[オリジナル台本]ウジェーヌ・スクリーブ[オリジナル振付]ジョゼフ・マシリエ[照明]ダミール・イスマギーロフ[指揮]アレクセイ・ボゴラト[演奏]ポリシヨイ劇場管弦楽団[収録]2014年3月27日 & 30日ポリシヨイ劇場(モスクワ)[映像監督]ヴァンサン・パタイオン ■全3幕：約2時間7分
ローマ歌劇場バレエ2017『バラード／ブルチネルラ』	2,5,6,7,10,30,8	ピカソがデザインしたバレエ・リュスの名作が現代のボンベイに甦る！バリ・オペラ座バレエのエトワール、エレオノラ・アッパニヤート率いるローマ歌劇場バレエの意欲的な野外公演。	[演目]バラード[振付]レオニード・マシーン[台本]ジャン・コクトー[音楽]エリック・サティ[装置&衣裳]パブロ・ピカソ[出演]マヌエル・バルツチーニ(中国の奇術師)サラ・ローロ、ミケーレ・サトリアーノ(アクロバット師)クリスティアーナ・ミリアーノ(アメリカの少女)ジャコモ・カステラーナ(フランス人マネジャー)ロイク・ピロー(アメリカ人マネジャー)ルカ・ドッターヴィオ、ルイジ・コッラード(馬) [演目]ブルチネルラ[台本&振付]レオニード・マシーン[音楽]イーゴル・ストラヴィンスキー(ジョヴァンニ・バッティスタ・ベルゴレージの音楽から)[装置&衣裳]パブロ・ピカソ[出演]クラウディオ・コチーノ(ブルチネルラ)レベッカ・ピアンキ(ピンピネッラ)マリアンナ・スリアーノ(ブルデンツァ)エレナ・ビディーニ(ロゼッタ)マルコ・マランジョ(魔術師)ジュゼッペ・デパーロ(カビエッロ)ジャコモ・ルーチ(フロリンド)マヌエル・ザッパコスタ(医者)マッシモ・ベルジーニ(タルタリア)ルカ・ドッターヴィオ(パッポ)ジャコモ・カステラーナ、ルイジ・コッラード、ジョヴァンニ・カステッリ、マッシミリアーノ・リッツォ(4人のブルチネルラ) [出演]ローマ歌劇場バレエ団[芸術監督]エレオノラ・アッパニヤート[収録]2017年7月27日～29日ボンベイ大劇場[映像監督]パオロ・サントーニ ■約1時間5分
<b>オペラ</b>			
『カヴァレリア・ルスティカーナ』2019 in マテラ	23,26,27,28,29,	南イタリアのユネスコ世界遺産「マテラの洞窟住居」を舞台上に繰り広げられる、ヴェリズモ・オペラの傑作。愛、嫉妬、怒り、憎しみが渦巻く、生々しい男女の愛憎劇。	[出演]ヴェロニカ・シメオーニ(サントウツァ/メソソプラノ)ロベルト・アロニカ(トゥリッドウ/テノール)ゲオルグ・ガヴニーゼ(アルフィオ/バリトン)アゴスティナー・スミメロ(ルチア/アルト)レイラ・マルティヌッチ(ローラ/メソソプラノ) [演目]ピエトロ・マスカーニ:1幕のメロドラマ『カヴァレリア・ルスティカーナ』[台本]ジョヴァンニ・タルジオーニ=トツヴェッティ&グイード・メナッシ[原作]ジョヴァンニ・ヴェルガの同名小説とそれに基づく同人による戯曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』[演出]ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ[装置]マッシモ・トロンカネッティ[衣裳]フランチェスコ・エスポジート[照明]マルコ・ジュスティ[映像デザイン]イゴール・レンツェッティ&ロレンツォ・ブルーノ[指揮]ユライ・ヴァルチュハ[演奏]サン・カルロ劇場管弦楽団&同合唱団[合唱指揮]ジェア・ガラッティ・アンシーニ[収録]2019年8月サン・ピエトロ・カヴェオーソ広場(マテラ)[映像監督]ロベルト・ジャンナレッリ ■字幕/全1幕(間奏曲付き):約1時間46分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
TUTTO VERDI #9『アッティラ』	1,2,3,1 1	23歳のアンドレア・バッティストーニがヴェルディの故郷ブッセートでヴェルディ初期のオペラを指揮した、2010年ヴェルディ・フェスティバル公演。	[出演]ジョヴァンニ・バッティスタ・パローディ(アッティラ/バス)スザンナ・ブランキーニ(オダベッラ/ソプラノ)ロベルト・デ・ピアージョ(フォレスト/テノール)セバステリアン・カターナ(エツィオ/バリトン)クリスティアーノ・クレモネーニ(ウルディーノ/テノール)ジアン・アトフェ(レオーネ/バス) [演目]ジュゼッパ・ヴェルディ:プロローグと3幕のドラマ・リーリコ『アッティラ』[台本]テミストークレ・ソレーラ、フランチェスコ・マリア・ピアヴェ[原作] ツァハリアス・ヴェルナーの戯曲『フン族の王アッティラ』[演出]ピエルフランチェスコ・マエストロニ[装置&衣裳]カルロ・サーヴィ[照明]ブルーノ・チュッソ [指揮]アンドレア・バッティストーニ[演奏]パルマ王立歌劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]マルティノ・ファッジアーニ[収録]2010年10月ヴェルディ劇場(ブッセート)[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/プロローグ&全3幕:約2時間
ウェルザー=メスト「カウフマンのこもり」	4	恒例のドレスデン大晦日公演。2019年はティーレマンがお休みでウェルザー=メストの『こもり』。カウフマン、クールマンは喜劇でもすごい!注目の新星も登場!	[出演]ヨナス・カウフマン(アイゼンシュタイン/テノール)レイチェル・ウィリス=ソレンセン(ロザリンデ/ソプラノ)エリーザベト・クールマン(オルロフスキー公爵/メゾ・ソプラノ)アンドレアス・シャーガー(アルフレード/テノール)ニコラ・ヒレブランド(アデーレ/ソプラノ)セバステリアン・ヴァルティヒ(ファルケ博士/バリトン)ミハエル・クラウス(フランク/バリトン)ターネー・ニボロ(イーダ/ソプラノ)キム・ピョンミン(プリント弁護士/テノール) [演目]ヨハン・シュトラウスⅡ世:喜歌劇『こもり』(全3幕/演奏会形式) [指揮]フランツ・ウェルザー=メスト [演奏]シュターツカペレ・ドレスデン及び同合唱団 [合唱指揮]コーネリウス・フォルケ[収録]2018年12月30日、ゼンパー・オーパー(ドレスデン)[映像監督]アンディ・ゾマー ■全3幕:約1時間24分
クライバーの『ばらの騎士』1994	31	『ばらの騎士』はカルロス・クライバーの初来日と最後の来日を飾る、日本の音楽ファンにとっても特別な演目。	[出演]フェリシティ・ロット(元帥夫人/ソプラノ)アンネ・ソフィー・フォン・ホッター(オクタヴィアン/メゾ・ソプラノ)バーバラ・ボニー(ゾフィー/ソプラノ)クルト・モル(オックス男爵/バス)ゴットフリート・ホーニク(ファルニナル/バリトン)オリヴェラ・ミヤコヴィチ(マリアンネ/ソプラノ)ハインツ・ツェドニク(ヴァルツカッキ/テノール) ル)アンナ・ゴンダ(アンニーナ/メゾ・ソプラノ)キース・イカイア=バーディ(歌手/テノール)ヴァルデマール・クメント(元帥夫人の執事/テノール)ペーター・ヴァインベルガー(警部/バリトン)フランツ・カーゼマン(ファルニナル家の執事/テノール)ヴォルフガング・バンクル(公証人/バス)ペーター・イエロジツ(料理屋の主人/テノール) [演目]リチャルト・シュトラウス:3幕の音楽のための喜劇『ばらの騎士』Op.59[台本]フーゴ・フォン・ホーフマンスタール[演出]オットー・シェンク[装置]ルドルフ・ハインリヒ[衣裳]エルニ・クニーベルト [指揮]カルロス・クライバー[演奏]ウィーン国立歌劇場管弦楽団及び同合唱団、オーストリア連邦劇場舞台オーケストラ(指揮:ラルフ・ホスフェルト)[合唱指揮]ディートリヒ・D・ゲルファイデ[収録]1994年3月ウィーン国立歌劇場[映像監督]ホラント・H・ホールフェルト ■字幕/全3幕:約3時間22分
ザルツブルク音楽祭2014『フィエラブラス』	3,4,5,6 7,8,9, 10,18	「歌曲王」として音楽史上燦然と輝くシューベルト(1797~1828)は、実は	[出演]ミハエル・シャーデ(フィエラブラス/テノール)ユリア・クライター(エンマ/ソプラノ)ベンジャミン・ベルンハイム(エギンハルト/テノール)ドロテア・レシュマン(フロリンダ/ソプラノ)マルクス・ウェルバ(ローラント/バリトン)ゲオルク・ツェッペンフェルト(カール大帝/バス)ペーター・カールマン(君主ローラント/バス)マリ=クロード・シャピユイ(マラゴンド/メゾ・ソプラノ)マヌエル・ヴァルサー(ブルタモンテ/バス)フランツ・グルーバー(オギー/テノール)セシル・イルカー、ヴィルマ・マラー(2人の若い女性/ソプラノ)ヘルムート・ホルリーグル(ムーア人隊長/バリトン)ミハエル・ヴァルター(騎士/バス) [演目]フランツ・ペーター・シューベルト:3幕の英雄劇/ロマン的オペラ『フィエラブラス』D.796, Op.76[台本]ヨゼフ・クーベルヴィーザー(フランスの叙事詩『フィエラブラス』、ペドロ・カルデロン・デ・ラ・バルカの戯曲『マンティブレの橋』、『エギンハルトとエンマ』伝説より) [演出]ペーター・シュタイン[装置]フェルディナント・ヴェーゲルバウアー[衣裳]アンナマリア・ハインライヒ[照明]ヨアヒム・バルト [指揮]インゴ・メッツマッハー[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団[合唱指揮]エルンスト・ラッフェルスベルガー [収録]2014年8月22日&25日ハウス・フォー・モーツァルト(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2014」[映像監督]ペーター・シェーンホーファー ■字幕/全3幕:約2時間45分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ザルツブルク音楽祭2015『フィガロの結婚』	10,12, 13,14, 15,16, 17,25,	モーツァルトの最高傑作のひとつ。『フィガロの結婚』の物語は、ロッシニの歌	[演出]スヴェン=エリック・ベヒトルフ[装置]アレックス・イールズ[衣裳]マルク・ブーマン[照明]フレデリック・ロム[ドラマトゥルギー]ロニー・ディートリヒ [指揮]ダン・エッティンガー[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団[合唱指揮]エルンスト・ラッフェルスベルガー [収録]2015年8月9日ハウス・フォー・モーツァルト(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2015」 [映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/全4幕:約3時間33分
ザルツブルク音楽祭2017『アリオダンテ』	17,18, 19,20, 21,22, 23,24,	バルトリがヒゲつらにドレス!? 男女の区別が錯綜するような配役と演出で、再評価著しいヘンデル・オペラの代表的傑作が上演された2017年ザルツブルク音楽祭	[演目] ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル: 3幕のドラマ・ペル・ムージカ『アリオダンテ』  [出演] チェチーリア・バルトリ(アリオダンテ/メゾ・ソプラノ)ネイサン・バーク(スコットランド国王/バリトン)キャサリン・レウィック(ジネーヴラ/ソプラノ) ロランド・ピリヤソ(ルルカーニオ/テノール)クリストフ・デューモ(ポリネッソ/カウンターテナー)サンドリーヌ・ピオー(ダリンダ/ソプラノ) クリストファー・ルンディン(オドアルド/テノール)  [演奏] ジャンルカ・カプアーノ(指揮)レ・ミュージシャン・デュ・フランス=モナコ(モナコ公の音楽家たち)ザルツブルク・バッハ合唱団(合唱指揮=アロイス・グラスナー)  [演出] クリストフ・ロイ [舞台美術] ヨハネス・ライアッカー [衣裳] ウルズラ・レンツェンブリック [照明] ロラント・エートリヒ [振付] アンドレアス・ハイゼ  [収録] 2017年、ザルツブルク、モーツァルトのための劇場(祝祭小劇場)(ザルツブルク 音楽祭ライブ) [映像監督] ティツィアーノ・マンチーニ
ザルツブルク音楽祭2018『魔笛』	4	サーカス小屋に捕らえられたパミーナを救え!名作に新たな世界観を構築した注目の演出。今大注目のギリシャ人指揮者コンスタンティノス・カリデイスの音楽を観る!	[出演]クラウス・マリア・ブランダウアー(おじいさん/語り手)/俳優)ウィーン少年合唱団(3人の孫、3人の童子)マウロ・ペーター(タミーノ/テノール)クリスティアーネ・カルク(パミーナ/ソプラノ)マティアス・ゲルネ(ザラストロ/バリトン)エマ・ボスマン(夜の女王/ソプラノ)アダム・ブラチェトカ(パパゲーノ/バス・バリトン)マリア・ナザーロヴァ(パパゲーナ/ソプラノ)イルゼ・エーレンス(侍女1/ソプラノ)ポーラ・マリヒエ(侍女2/メゾ・ソプラノ)ジュヌヴィエーヴ・キング(侍女3/メゾ・ソプラノ)マイケル・ポーター(モNSTAS/テノール)タレク・ナズミ(弁者、僧侶1、鎧をつけた男2/バス)シモン・ボーデ(僧侶2、鎧をつけた男1/テノール)ブリギット・リナウアー(老パパゲーナ/俳優) [演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 2幕のジグシュピール『魔笛』K.620[台本]エマヌエル・シカネーダー[脚本]イナ・カール&リディア・スタイアー[演出]リディア・スタイアー[装置]カタリーナ・シュリッパ[衣裳]ウルスラ・グドゥルナ[照明]オラフ・フレーゼ[ビデオ]フェットフィルム[ドラマトゥルギー]イナ・カール[指揮]コンスタンティノス・カリデイス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場合唱団、ソフィア・タムヴァコプー(ハンマークラヴィア&オルガン)アンドレアス・スクーラス(チェンバロ)[合唱指揮]エルンスト・ラッフェルスベルガー[ウィーン少年合唱団指導]エラスムス・バウムガルトナー[収録]2018年8月4日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]ミヒャエル・ペイヤー ■字幕/全2幕:約2時間30分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ザルツブルク音楽祭2019『イドメネオ』	24,26, 27,28, 29,30	あの鬼才コンビが2年ぶりにザルツブルクに戻ってきた! 指揮者クルレンツィスと演出家セラーズの『イドメネオ』は、今年の音楽祭の目玉公演。	[出演]ラッセル・トーマス(イドメネオ/テノール)ポーラ・マリヒー(イダマンテ/メゾ・ソプラノ)イン・ファン(イリア/ソプラノ)ニコール・シュヴァリエ(エレットラ/ソプラノ)レヴィ・セクガパーネ(アルバーチェ/テノール)アイザック・サヴェイジ(大祭司/テノール)ジョナサン・レマル(神託の声/バス)ダーフィット・シュテッフェンス(『エジプトの王タモス』のバス独唱/バス)プリトニ・マヘアラニ・フィマオノ(ダンサー)アリキタウ・テンタウ(ダンサー) [演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 歌劇『イドメネオ』K.366 [演出&映像監督]ピーター・セラーズ[装置]ゲオルク・ツィーピン[衣裳]ロビー・タイヴァマン [照明]ジェイムズ・F・インガルズ [振付]レミ・ポニファシオ [指揮]テオドール・クルレンツィス[演奏]フライブルク・バロック管弦楽団、ペルミ国立オペラ・ムジカエテルナ合唱団 [収録]2019年、ザルツブルク、フェルゼンライトシュレー(ライブ) ■字幕/全3幕/3時間20分(番組枠)
ザルツブルク音楽祭2019『シモン・ポッカネグラ』	1,2,3,1 1	ザルツブルク音楽祭では12年ぶりに実現したゲルギエフのオペラ。鬼才クリーゲンブルクの斬新な演出が、普遍的な人間ドラマを描く『シモン・ポッカネグラ』	[出演]ルカ・サルシ(シモン・ポッカネグラ/バリトン)マリーナ・レベカ(アメリア(マリア・ポッカネグラ)/ソプラノ)ルネ・パーペ(フィエスコ/バス)チャールズ・カストロノヴォ(ガブリエレ/テノール)アンドレ・エイボエル(パオロ/バリトン)アントニオ・ディ・マッテオ(ピエトロ/バス)ロン・ロン(騎兵隊長/テノール) [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ: プロローグと3幕のメロドラマ『シモン・ポッカネグラ』[演出]アンドレアス・クリーゲンブルク[装置]ハラルド・B・トア[衣裳]ターニャ・ホフマン[照明]アンドレアス・グリューター[映像]ペイター・ヴェイノス[ドラマトゥルク]ジュリア・ヴァインライヒ [指揮]ヴァレリー・ゲルギエフ[演奏]ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウイーン国立歌劇場合唱団[収録]2019年8月、ザルツブルク祝祭大劇場 ■字幕/約2時間20分
ベルゴレージ・スポンティーニ・フェスティバル2011『恋に陥った兄と妹』	31	モーツァルトやロッシーニに影響を与えたオペラ喜劇の原点。ピオンディ率いるエウロパ・ガランテの古楽が鮮やかなベルゴレージの知られざる傑作。	[出演]ニコラ・アライモ(マルカニエッロ/バリトン)エレナ・ベルフィオーレ(アスカニオ/メゾ・ソプラノ)パトリツィア・ビッチーレ(ネーナ/ソプラノ)ユルギーター・アダモニテ(ニーナ/メゾ・ソプラノ)バルバラ・ディ・カストリ(ルグレット/メゾ・ソプラノ)ダヴィド・アレグレット(カルロ/テノール)ラウラ・ケリーチ(ヴァンネッラ/ソプラノ)ローザ・ポーヴェ(カルデッラ/メゾ・ソプラノ)フィリッポ・モラーチェ(ドン・ピエトロ/バス) [演目]ジョヴァンニ・バッティスタ・ベルゴレージ: 3幕のコンメディア・ベル・ムジカ『恋に陥った兄と妹』(フランチェスコ・デグラータ校訂によるクリティカル・エディション)[台本]ジェンナラントニオ・フェデリーコ[演出&装置]ウイリー・ランディン[衣裳]エレナ・チコレッラ[照明]ファブリツィオ・ゴッビ[指揮&ヴァイオリン、ヴィオラ・ダモレ]ファビオ・ピオンディ[演奏]エウロパ・ガランテ[収録]2011年9月30日&10月2日テアトロ・ベルゴレージ(イエージ、イタリア・マルケ州)「ベルゴレージ・スポンティーニ・フェスティバル2011」[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/全3幕:約2時間41分
ポローニャ歌劇場2017『カヴァレリア・ルスティカーナ』	6,7,8,9, 10,12, 18	シチリア島を舞台に、三角関係のもつれから裏切られた女の嫉妬が招く殺人。実在の事件を基に作曲したマスカーニの出世作。指揮はミケーレ・マリオッティ。	[出演]マルコ・ベルティ(トゥリッドゥ/テノール)カルメン・トプチウ(サントゥツァ/メゾ・ソプラノ)ゲジム・ミシュケタ(アルフィオ/バリトン)アナスタシア・ポルドイレヴァ(ローラ/メゾ・ソプラノ)クラウディア・マルキ(ルチア/メゾ・ソプラノ) [演目]ピエトロ・マスカーニ: 1幕のメロドラマ『カヴァレリア・ルスティカーナ』[台本]ジョヴァンニ・タルジョーニ=トツェッティ、ガイド・メナッシ[原作]ジョヴァンニ・ヴェルガの同名小説とそれに基づく同人による戯曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』[演出]エンマ・ダンテ[装置]カルミネ・マリンゴラ[衣裳]ヴァネッサ・サンニエーノ[照明]クリスティアン・ズカーロ[振付]マヌエラ・ロー・シッコ[指揮]ミケーレ・マリオッティ[演奏]ポローニャ市立劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]アンドレア・ファイドウツィ[収録]2017年4月ポローニャ市立劇場[映像監督]アルナルダ・カナリ ■字幕/全1幕:1時間30分(番組枠)

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ボローニャ歌劇場2017『人間の声』	12,13,14,15,16,18	男に捨てられた女の狂気。電話で話す女のセリフだけで展開するコクトー台本／ブーランク作曲のモノオペラ。ミケーレ・マリオッティ指揮、アンナ・カテリーナ・アントナッチが熱演。	[出演]アンナ・カテリーナ・アントナッチ(ソプラノ) [演目]フランシス・ブーランク：1幕のトラジェディ・リリック『人間の声』[台本]ジャン・コクトー[演出]エンマ・ダンテ[装置]カルミネ・マリンゴーラ[衣裳]ヴァネッサ・サンニエーノ[照明]クリスティアン・ズカーロ[振付]マヌエラ・ロ・シッコ[指揮]ミケーレ・マリオッティ[演奏]ボローニャ市立劇場管弦楽団[収録]2017年4月ボローニャ市立劇場[映像監督]アルナルダ・カナリ ■字幕／全1幕：約46分
ローマ歌劇場2017『ファウストの劫罰』	13,14,15,16,17,19,25	ベルリオーズの劇的物語が鬼才ダミアノ・ミキエレット演出によるオペラ上演として話題沸騰のローマ歌劇場公演！指揮は2018年12月より同歌劇場音楽監督に就任したダニエレ・ガッティ。	[出演]パヴェル・チエルノフ(ファウスト／テノール)アレックス・エスポージト(メフィストフェレス／バス・バリトン)ヴェロニカ・シメオーニ(マルグリート／メゾ・ソプラノ)ゴラン・ユリッチ(ブランデル／バス) [演目]エクトール・ベルリオーズ：4部の劇的物語『ファウストの劫罰』Op.24[台本]アルミール・ガンドニエール&エクトール・ベルリオーズ[原作]ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの詩劇『ファウスト』のジェラルド・ド・ネルヴァルによるフランス語訳 [演出] ダミアノ・ミキエレット [装置] パオロ・ファンティン [衣裳] カルラ・テーティ [照明] アレッサンドロ・カルレッティ [ビデオ] ロカ・フィルム [パントマイム] キアーラ・ヴェッキ [指揮] ダニエレ・ガッティ [演奏] ローマ歌劇場管弦楽団及び同合唱団、同合唱学校[合唱指揮]ロベルト・ガッビアーニ[収録]2017年12月14日ローマ歌劇場[映像監督]クラウディア・デ・トーマ ■字幕／全15場：約2時間12分
ロッシェニ・オペラ・フェスティバル2010『シジスモンド』	27,28,29,30	ロッシェニの生まれ故郷ペーザロで行われる「ロッシェニ・オペラ・フェスティバル」2010年開幕を飾り、賛否両論の大騒動を巻き起こした話題の公演。	[出演]ダニエラ・バルチェッローナ(シジスモンド/メゾ・ソプラノ)オルガ・ペレチャツコ(アルデミーラ/ソプラノ)アントニーノ・シラゲーザ(ラディスラオ/テノール)アンドレア・コンチェッティ(ウルデリコ、ゼノヴィート/バス)マヌエラ・ビシェリエ(アナジルダ/ソプラノ)エネア・スカラ(ラドスキ/テノール) [演目]ジョアキーノ・ロッシェニ：2幕のドラマ・ベル・ムジカ『シジスモンド』(パオロ・ピナモンティ校訂によるクリティカル・エディション)[台本]ジュゼッペ・フョッパ[演出]ダミアノ・ミキエレット[装置]パオロ・ファンティン[衣裳]カルラ・テーティ[照明]アレッサンドロ・カルレッティ [指揮]ミケーレ・マリオッティ[演奏]ボローニャ歌劇場管弦楽団及び同合唱団、ジュリオ・ザッパ(フォルテピアノ)サラ・ナンニ(チェロ/通奏低音)[合唱指揮]パオロ・ヴェロ[収録]2010年8月テアトロ・ロッシェニ(ペーザロ)[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/全2幕:約2時間46分
ロッシェニ・オペラ・フェスティバル2018『リッチャルドとゾライデ』	20,21,22,23,26,	上演機会の少ないレア作品に、ベルカントの王フローレスと超新星プリティ・イェンデら、ハイ・レベルのキャストが集結。ロッシェニの聖地ペーザロの真骨頂。	[出演]フアン・ディエゴ・フローレス(リッチャルド/テノール)プリティ・イェンデ(ゾライデ/ソプラノ)セルゲイ・ロマノフスキー(アグランテ/テノール)ニコラ・ウリウヰエリ(イルカーノ/バス)ウクィトリア・ヤロウフヤ(ゾミアラ/メゾ・ソプラノ)シャビエル・アンドゥアール・ガ(エルネスト/テノール)ソフィア・ムチェドリシヴィリ(ファティマ/ソプラノ)マルティニア・アントニエ(エルミラ/メゾ・ソプラノ)ルジル・ガティン(ザモッレ/テノール) [演目]ジョアキーノ・ロッシェニ：2幕のドラマ・セリオ・ベル・ムジカ『リッチャルドとゾライデ』(フェデリコ・アゴスティネリ&ガブリエーレ・グラヴァーニヤ校訂によるクリティカル・エディション)[台本]フランチェスコ・ベリオ・ディ・サルサ[演出]マーシャル・ピンコスキ[装置]ジェラルド・ガウチ[衣裳]ミカエル・ジャンフランチェスコ[照明]ミシェル・ラムゼイ[振付]ジャンネッテ・ラジュネス・ツィング[指揮]ジャコモ・サグリバンティ[演奏]RAI国立交響楽団、ヴェンティーディオ・パッソ劇場合唱団[合唱指揮]ジョヴァンニ・ファリーナ[収録]2018年8月11日アドリアティク・アレーナ(ペーザロ)[映像監督]アリヱラ・ベッディーニ ■字幕／全2幕：約2時間58分
<b>コンサート</b>			
1989年ベルリンの壁崩壊を祝うベートーヴェン『第九』	31	1989年のクリスマス。ベルリンの壁崩壊を記念して、当時のシャウシュピールハウスに東西ドイツや米ソなどのアーティストが集った、バーンスタイン指揮による歴史的な『第九』。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第9番二短調Op.125『合唱』[指揮]レナード・バーンスタイン[演奏]バイエルン放送交響楽団、シュターツカペレ・ドレスデン団員、レニングラード・キーロフ劇場管弦楽団団員、ロンドン交響楽団団員、ニューヨーク・フィルハーモニック団員、パリ管弦楽団団員、バイエルン放送合唱団、ベルリン放送合唱団団員、ドレスデン・フィルハーモニック児童合唱団団員

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
BBCプロムス2016「グラジニーテ=ティエラ&ハンニガン」	1,2,3,10,11,	1920年創設のバーミンガム市響で初の女性音楽監督に指名されたのがグラジニーテ=ティエラ。エネルギーあふれる表現と豊かな表情が印象的で、このステージでも早くもオーケストラと聴衆を引き込んでいます。	[演目] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：歌劇『魔笛』K. 620から序曲、ハンス・アブラハムセン：「レット・ミー・テル・ユー」(作詞：ポール・グリフィス)(ロンドン初演)、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第4番 へ短調Op. 36、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：バレエ音楽『眠りの森の美女』Op. 66から「ダイヤモンドの精の踊りとコーダ」 [指揮] ミルガ・グラジニーテ=ティエラ [演奏] バーミンガム市交響楽団、バーバラ・ハンニガン(ソプラノ) [収録] 2016年8月27日 ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] パティ・マー ■ 1時間45分(番組枠)
BBCプロムス2019「バーミンガム市響&シエク・カネー=メイソン」	1,2,3,4,5,11	注目の女性指揮者グラジニーテ=ティエラ&バーミンガム市響が今年もプロムスに登場!力を入れるヴァインベルク作品はじめ、「100年」記念の曲たちの個性を浮き彫りに。	[演目] ドロシー・ハウエル:音詩「ラミア」、エドワード・エルガー:チェロ協奏曲 へ短調 op. 85、ミエチスワフ・ヴァインベルク:「24の前奏曲」 op. 100より第18番、オリヴァー・ナッセン:ヤンダー城への道 op. 21a、ミエチスワフ・ヴァインベルク:交響曲第3番 op. 45 [指揮] ミルガ・グラジニーテ=ティエラ [演奏] シエク・カネー=メイソン(チェロ)バーミンガム市交響楽団 [収録] 2019年8月22日 ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール ■ 約1時間42分
BBCプロムス2019「ボヘミアン・ラブソディ」	3,4	メイン会場のロイヤル・アルバート・ホールで行なわれた「ボヘミアン・ラブソディ」の模様です。ボヘミアの語源であるチェコで活躍した二人の大作作曲家、アントニン・ドヴォルザークのヴァイオリン協奏曲と、ベドルジフ・スメタナの『わが祖国』というチェコ音楽プログラムです。	[演目] アントニン・ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲 へ短調 Op.53、弦楽三重奏のためのミニアチュール作品 Op. 75aより第1曲カヴァティーナ(ソリスト・アンコール)、ベドルジフ・スメタナ：6つの連作交響詩『わが祖国』全曲、第1曲「ヴィシエフラド(高い城)」、第2曲「ヴルタヴァ」、第3曲「シャルカ」、第4曲「ボヘミアの森と草原より」、第5曲「ターボル」、第6曲「ブラニーク」、ベドルジフ・スメタナ：歌劇『売られた花嫁』よりポルカ、フリアント(アンコール) [指揮] ヤクブ・フルシャ [ヴァイオリン] ジョシュア・ベル、バート・ヴァンデンボゲルデ(コンサートマスター) [ヴィオラ] ロイス・ランズバーク(首席奏者) [管弦楽] バンベルク交響楽団 [収録] 2019年7月20日、ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] ロードリ・ヒュー ■ 2時間15分(番組枠)
BBCプロムス2019「ワーナー映画音楽の世界」	4	ロンドンの夏を彩る大音楽祭BBCプロムス。その魅力は熱狂の「ラスト・ナイト」だけではない。大人気オーケストラが奏でるスクリーン・ミュージック集!	[演目] エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト:映画『シー・ホーク』よりハリー・ウォーレン:映画『ゴールド・ディガース』より「We're in the Money」シグモンド・ロンバーク:映画『砂漠の歌』よりマックス・スタイナー:映画『黄金』よりデIMITRIOU・ティオムキン:映画『老人と海』よりメレディス・ウィルソン:映画『ミュージック・マン』(1962)より「76本のトロンボーン」ハロルド・アーレン:映画『ブルース・イン・ザ・ナイト』よりプロニスラウ・ケイパー:映画『メイム叔母さん』よりハロルド・アーレン:映画『スタア誕生』より「ご一緒させて」ハロルド・アーレン:映画『スタア誕生』より「去って行った彼」 フレデリック・ロウ:映画『マイ・フェア・レディ』よりジュール・スタイン:映画『ジブシー』より「ジブシー」序曲 マックス・スタイナー:映画『情熱の航路』よりサミー・フェイン:映画『カラミティ・ジェーン』より「デッドウッド・ステージ」(ドリス・デイ・トリビュート)ジュール・スタイン:映画『洋上のロマンス』より「イッツ・マジック」 アレックス・ノース:映画『欲望という名の電車』より フレデリック・ロウ:映画『キャメロット』より ヘンリー・マンシーニ:映画『酒とバラの日々』よりエーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト:映画『永遠の処女』より「明日」フレデリック・ロウ:映画『マイ・フェア・レディ』より「踊り明かそう」 ジョン・ウィリアムス:組曲『ハリー・ポッター(と賢者の石)』より「ハリーの不思議な世界」[指揮] ジョン・ウィルソン [演奏] ジョン・ウィルソン・オーケストラ、ミカエラ・ベネット(ヴォーカル)、ルイーザ・ディアマン(ヴォーカル)、ケイト・リンジー(ヴォーカル)、マシュー・フォード(ヴォーカル)、メイダ・ヴェール・シンガーズ [収録] 2019年8月9日 ロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン) [映像監督] プリジット・コールドウェル ■ 約2時間5分



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
アーノンケールの「モーツァルト三大交響曲」2014	8,9,10, 12,13, 15,18	1929年生まれの指揮者ニコラウス・アーノンケールと、彼が設立したオリジナル楽器オーケストラ「ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス」による、モーツァルト最後の3つの交響曲(第39番・第40番・第41番『ジュピター』)。アーノンケールが故郷オーストリアのグラーツで毎年行っている「シュティリアルテ音楽祭」2014で大きな話題を呼んだ公演。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:交響曲第39番変ホ長調K.543/交響曲第40番短調K.550/交響曲第41番ハ長調K.551『ジュピター』 [指揮]ニコラウス・アーノンケール[演奏]ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス [収録]2014年7月5日シュテファニエンザール(グラーツ、オーストリア)[映像監督]フォルカー・グローシュコップ ■約1時間55分
アーノンケールの『ブランデンブルク協奏曲第5番』	2,5,6,7, 8,	20世紀の古楽運動の主導者としてクラシック音楽界に革命をもたらし、2016年3月に86歳で亡くなったニコラウス・アーノンケールと手兵「ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス」が、1982年に映像収録したJ・S・バッハの傑作『ブランデンブルク協奏曲』。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ:ブランデンブルク協奏曲第5番二長調BWV.1050 [演奏]ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、ヘルベルト・タヘツィ(チェンバロ)レオポルド・シュタストニー(フラウト・トラヴェルソ)アリス・アーノンケール(ヴァイオリン) [収録]1982年7月5日～14日ヴィプリング修道院図書館ホール(ウルム、ドイツ)[映像監督]クラウス・リンデマン ■約25分
アーノンケールのバッハ『オーボエとヴァイオリンのための協奏曲』	23,24, 26,27, 28,	20世紀の古楽運動の主導者としてクラシック音楽界に革命をもたらし、2016年3月に86歳で亡くなったニコラウス・アーノンケールと手兵「ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス」が1982年に映像収録したJ・S・バッハ『オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調』。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ:オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調BWV.1060a[演奏]ニコラウス・アーノンケール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、ユルク・シェフトライン(オーボエ)アリス・アーノンケール(ヴァイオリン) [収録]オクセンハウゼン修道院図書館[映像監督]クラウス・リンデマン[制作]1984年 ■約17分
ウィーン国立歌劇場創建150周年ガラ	1,2,3,4, 5,6,11		[演目]リヒャルト・ワーグナー: 歌劇『タンホイザー』～第2幕エリーザベットのアリア「貴き殿堂よ」(殿堂のアリア)[出演]ニーナ・シュテンメ(ソプラノ) [演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン: 歌劇『フィデリオ』～第1幕ドン・ピツァロのアリア「ああ、今こそチャンスだ」[出演]トマス・コニエチューネ(バス・バリトン)[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ: 歌劇『マクベス』～第2幕バンクォーのアリア「息子よ、足下に気をつける」[出演]バク・ジョンミン(バス) [演目]ジュゼッペ・ヴェルディ: 歌劇『ナブッコ』～第3幕の合唱「行け、わが思いよ、金色の翼に乗って」[出演]ウィーン国立歌劇場合唱団 [演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』～第3幕伯爵夫人のアリア「甘さと喜びの美しい時は」[出演]オルガ・ベズメルトナ(ソプラノ)[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』～第1幕ドン・ジョヴァンニのアリア「酒で頭がかあとなるまで」(シャンパンの歌)／第1幕ツェルリーナとドン・ジョヴァンニの二重唱「手を取り合って」[出演]アーウィン・シュロット(バス・バリトン)ヴァレンティナ・ナフォルニータ(ソプラノ)[演目]ジュール・マスネ: 歌劇『ウェルテル』～第3幕ウェルテルのアリア「春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか」(オシアンの歌)[出演]ベンジャミン・ベルンハイム(テノール) [演目]エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト: 歌劇『死の都』～第1幕マリエッタのアリア「私に残された幸せは」(マリエッタの歌)[出演]カミラ・ニールンド(ソプラノ)
ウィーン少年合唱団「MuTh オープニング・ガラ」	29,30, 31	10歳から14歳までの少年が所属し、ウィーンの伝統を受け継ぐ世界的に名高い合唱団「ウィーン少年合唱団」。	[演目]モーツァルト: アヴェ・ヴェルム・コルプス、ガルス: しもべらよ共に歌え、シューベルト: 楽に寄す、ガブリエリ: 祝福あれ処女マリアよ、ブルックナー: アヴェ・マリア、ハイドン: テ・デウム 八長調 他 [収録]2012年12月9日アウガルテン公園内「MuTh」(ウィーン)、約58分
カヴァコス『ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第10番』	1,2,3,5, 6,7,11	2012年ザルツブルク音楽祭で3日間にわたり行われた「ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ」全曲コンサートより、前作『クロイツェル』から10年近く経て作曲された、ベートーヴェンにとって最後のヴァイオリン・ソナタとなる第10番。	[演目]ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第10番長調Op.96[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月22日モーツァルトテウム大ホール(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2012」 約32分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第7番』	4	ヴァイオリンとピアノが対等に扱われるベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは、2人のアーティストの掛け合いや呼吸など、映像ならではの楽しみ方が満載。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調Op.30-2[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月23日モーツァルテウム(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2012」[映像監督]クリスティアン・クルト・ヴァイス ■約27分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番』	4	1967年アテネに生まれ、1985年に史上最年少でシベリウス国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。	[演目] ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第8番ト長調Op.30-3[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月25日モーツァルテウム(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2012」、約21分
カヴァコス『ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番』	1,2,3,5,6,7,11	CDと同じイタリアのピアニスト、エンリコ・パーチェと組み、2012年ザルツブルク音楽祭で3日間にわたり行われた「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ」全曲コンサートより、フランスの名ヴァイオリニスト、ロドルフ・クロイツェルに献呈された第9番『クロイツェル』。	[演目] ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調Op.47『クロイツェル』[ヴァイオリン]レオニダス・カヴァコス[ピアノ]エンリコ・パーチェ[収録]2012年8月25日モーツァルテウム大ホール(ザルツブルク)「ザルツブルク音楽祭2012」、約41分
ガッティ&コンサートヘボウ管2017「ドビュッシー&ストラヴィンスキー」	1,2,5,6	名門ロイヤル・コンサートヘボウならではの豊麗なサウンドが、現代的でスタイリッシュな『春祭』を生んだ名演！今となっては貴重な、ガッティとの共演の記録。	[演目] クロード・ドビュッシー：『牧神の午後への前奏曲』/交響詩『海』～3つの交響的エスキス、イーゴリ・ストラヴィンスキー：バレエ『春の祭典』[指揮]ダニエレ・ガッティ[演奏]ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団[収録]2017年1月コンサートヘボウ(アムステルダム)[映像監督]ディック・カイス ■約1時間22分
カラヤン&ベルリン・フィル『ベートーヴェン：交響曲第7番』	2,3,5,6,7,8,11,9	20世紀のクラシック音楽の到達点ともいえる、神々しい威厳を混えたカラヤン&ベルリン・フィルのベートーヴェン。帝王カラヤンがいち早く着目した映像表現の可能性。	[曲目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op. 92 [指揮] ヘルベルト・フォン・カラヤン [管弦楽] ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 1971年、ベルリン、CCCフィルム・スタジオ [映像監督] フーゴ・ニーベリング
キット・アームストロング『ゴルトベルク変奏曲』	31	いま最も聴くべきピアニスト、キット・アームストロング。情緒とパッションあふれる『ゴルトベルク変奏曲』に、バッハの先人たちの伝統を加えた見事な曲目構成。	[演目] ウィリアム・バード：ヒュー・アシュトンとのグラウンド、ヤン・ピーテルスゾーン・スウェーリンク：「わが青春の日は過ぎたり」による6つの変奏曲 SwWV 324/「われを憐れみたまえ、おお主なる神よ」による6つの変奏曲 SwWV303、ジョン・ブル：ウォルシンガムの主題による30の変奏曲、ヨハン・セバスティアン・バッハ：ゴルトベルク変奏曲BWV.988[ピアノ]キット・アームストロング[収録]2016年3月13日コンサートヘボウ(アムステルダム)[映像監督]ディック・カイス ■約2時間7分
クーベリック&ウィーン・フィル『ロマンティック』	21,22,23,26,27,	クーベリックがウィーン・フィルを振る指揮姿のみならず、ゲルハルト・ヘッツェル、ウエルナー・ヒンク、21歳のライナー・キュヒルの姿にも注目したい。	[演目] アンTON・ブルックナー：交響曲第4番変ホ長調『ロマンティック』WAB.104[指揮]ラファエル・クーベリック[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1971年1月12日～14日ムジークフェラインザール(ウィーン)[映像監督]アルネ・アルンボム ■約1時間9分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
クライバー&コンサートヘボウ『ベートーヴェン：交響曲第7番』	16,17,19,20,21,22,23,25,	カルロス・クライバーの指揮姿の中で最も有名な映像。生き生きとしたリズム、疾走するスピード感、美しい詩情、魔術的な休止、そしてフィナーレの圧倒的高揚!クライバーの魔法の指揮が視覚的に楽しめる、1983年10月オランダのアムステルダムで行われたコンサートヘボウ管との歴史的映像。	[演出]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調Op.92 [指揮]カルロス・クライバー-[演奏]アムステルダム・コンサートヘボウ管弦楽団 [収録]1983年10月19日&20日コンサートヘボウ(アムステルダム)[映像監督]ハンフリー・バートン ■約38分
グリゴリー・ソコロフ「トリノ・リサイタル2017」	4	現代最高、幻のピアニストの貴重なライブ! 結晶化したときり美しいタッチが、深遠広大な宇宙を創造する	[演奏] グリゴリー・ソコロフ(ピアノ) [演出] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ・ソナタ第15番 八長調 K.545、幻想曲 八短調 K.475、ピアノ・ソナタ第14番 八短調 K.457 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第27番 ホ短調 Op.90、ピアノ・ソナタ第32番 八短調 Op.111 [アンコール] フランツ・シューベルト：「楽興の時」D780から第1番八長調 フレデリック・ショパン：ノクターン 長調 Op.32-1、変イ長調 Op.32-2 ジャン＝フィリップ・ラモーン：『クラヴサン・コンセール』から「軽はずみなおしゃべり」ロベルト・シューマン：アラベスク 八長調 Op.18 クロード・ドビュッシー：前奏曲集第2巻から第10曲「カノープ」 [収録] 2017年5月31日 トリノ、リンゴット・コングレス・センター [映像監督] ナディア・ノヴィコヴァ ■約2時間21分
ザルツブルク音楽祭2011『ロッシーニ：スターバト・マーテル』	1,2,3,5,6,7,8,11,	冒頭のハイドンのロンドン交響曲が超名演。英国ロイヤル・オペラと聖チェチーリア国立音楽院管弦楽団の音楽監督を務めるイタリアの指揮者アントニオ・パッパーノが、聖チェチーリア国立音楽院管とのコンビではザルツブルク音楽祭初登場となった公演。	[演出]フランツ・ヨーゼフ・ハイドン：交響曲第104番二長調Hob.1-104『ロンドン』、ジョアキーノ・ロッシーニ：スターバト・マーテル(第1曲：序奏「悲しみの聖母は行み」第2曲：テノールのアリア「悲しみに沈むその魂を」第3曲：二重唱「誰か涙を流さない者があるだろうか」第4曲：アリア「人々の罪のために」第5曲：合唱とレチタティーヴォ「愛の泉である聖母よ」第6曲：四重唱「おお、聖母よ」第7曲：カヴァティーナ「キリストの死に思いを巡らし給え」第8曲：アリアと合唱「裁きの日に我を守り給え」第9曲：四重唱「肉体は死んで朽ち果てるとも」第10曲：終曲「アーメン」)[指揮]アントニオ・パッパーノ
シャイー「ミラノのためのコンサート2018」 in ドゥオーモ広場	8,17	ミラノに行ったら誰もが必ず訪れるドゥオーモ(大聖堂)の広大な広場が、約40,000人の観客を集めるコンサート会場になる! 2013年から始まった「ミラノのためのコンサート」は、毎年6月にスカラ・フィルハーモニー管弦楽団(ミラノ・スカラ座管弦楽団)が行っている野外の無料クラシック・コンサートです。	[演出]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番変ロ短調Op.23、エドヴァルド・グリーグ(グリゴリー・ロマンヴィチ・ギンズブルク編曲)：『ペール・ギュント』第1組曲Op.46～第4曲「山の魔王の宮殿にて」、モデスト・ムソルグスキー(モーリス・ラヴェル編曲)：組曲『展覧会の絵』(「プロムナード」「グノム」「古城」「テュイルリーの庭」「ビドロ(牛車)」「卵の殻をつけた雛の踊り」「サムエル・ゴールデンベルクとシユムイレ」「リモージュの市場」「カタコンベ～ローマ時代の墓」「バーバ・ヤガー～鶉の足の上に建つ小屋」「キエフの大門」)、セルゲイ・ラフマニノフ：ヴォカリーズOp.34-14、ゼキーニャ・ジ・アプレウ：テコ・テコ[指揮]リカルド・シャイー[演奏]スカラ・フィルハーモニー管弦楽団、デニス・マツエフ(ピアノ)[収録]2018年6月10日ドゥオーモ広場(ミラノ)「ミラノのためのコンサート2018」[映像監督]パトリツィア・カルミネ ■字幕/約1時間30分
シャイー「ミラノのためのコンサート2019」 in ドゥオーモ広場	9	ミラノのドゥオーモ広場に40,000人の観客を集める恒例の野外コンサート。2019年は没後40年を迎えるニーノ・ロータをトリビュート。映画『道』のバレエ組曲は必見。	[演出]アントニン・ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調Op.95,B.178『新世界より』、ニーノ・ロータ：バレエ組曲『道』(第1曲「田舎の結婚」「ザンパノの到着」)第2曲「3人の演奏者と張り綱の上の『マット』」第3曲「サーカス」(ザンパノの音楽-ジャグラー-『マット』のヴァイオリン)第4曲「ザンパノの怒り」第5曲「ザンパノ、『マット』を殺す-ジェルソミナの苦痛」第6曲「最後の雪の場面『さらば、ジェルソミナ』」第7曲「ザンパノの孤独と涙」/映画『オーケストラ・リハーサル』～「嘲笑」「ギャロップ」、アルトゥーロ・マルケス：ダンソン第2番[指揮]リカルド・シャイー[演奏]スカラ・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2019年6月9日ドゥオーモ広場(ミラノ)「ミラノのためのコンサート2019」[映像監督]パトリツィア・カルミネ ■1時間40分(番組枠)

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ジョイス・デイドナート「戦争と平和の中で」	31	人気メゾ・ソプラノ、ジョイス・デイドナートのベストセラー・アルバム『戦争と平和の中で』と同コンセプトで行なわれたリサイタル。バロック・アリアに込められた平和への思いが胸を打つ。	[演目]【第1部:戦争】ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:オラトリオ『イェフタ』HWV.70～ストルジェのアリア「何か恐ろしいことが…下界の闇から」、レオナルド・レオ:歌劇『アンドロマカ』～アンドロマカのアリア「その剣を取れ、おお 残酷な者!」、エミリオ・デ・カヴァリエーリ:音楽劇『魂と肉体の劇』～シンフォニア、ヘンリー・パーセル:シャコンヌ ト短調Z.730/歌劇『デイドとエネアス』Z.626～デイドのレチタティーヴォとアリア「お前の手をこちらへ…私が地中に横たえられた時」(デイドのラメント)、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:歌劇『アグリッピーナ』HWV.6～アグリッピーナのアリア「胸騒ぎ、胸騒ぎが私を苦しめる」、カルロ・ジェズアルド:聖木曜日のためのレスポンソリウム第2番「私の魂は死ぬほどに悲しい」、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:歌劇『リナルド』HWV.7～アルミレーナのアリア「私を泣かせて下さい」【第2部:平和】ヘンリー・パーセル:音楽劇『インドの女王』Z.630～オラツィアのアリア「彼らはあなたの偉大な力を語った」、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:オラトリオ『スザンナ』HWV.66～スザンナのレチタティーヴォとアリア「どこか涼しい静かな…水晶のような」、アルヴォ・ペルト:「主よ、平和を与えたまえ」、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:歌劇『リナルド』HWV.7～アルミレーナのアリア「歌を歌っている小鳥たち」/歌劇『ジュリオ・チェザレ』HWV.17～クレオパトラのアリア「嵐で壊れた船は」、ニコロ・ヨンメリ:歌劇『アッティリオ・レゴロ』～アッティリアのアリア「私の魂は」、リヒャルト・シュトラウス:あすの朝Op.27-4[出演]ジョイス・デイドナート(メゾ・ソプラノ)マヌエル・パラッツォ(振付&ダンサー)[指揮&チェンバロ]マクシム・エメリヤニチェフ[演奏]イル・ボモ・ド・ロ[演出]ラルフ・ブレーガー[衣裳]ヴィヴィアン・ウェストウッド、ラジャ・ロストバヤ[照明]ヘニング・ブルム[映像デザイン]ユージェフ・イスカンドル[収録]2017年6月4日リセウ大劇場(バルセロナ)[映像監督]オリヴィエ・シモネ ■字幕/1時間50分(番組枠)
ショルティ&ロンドン・フィル『コッペリア組曲』	8,13	「フランス・バレエ音楽の父」とも称されるレオ・ドリーブが作曲した最も有名なバレエ音楽『コッペリア』からの組曲。	[演目]ドリーブ:バレエ音楽『コッペリア』組曲(前奏曲とマズルカ/情景とスワニルダの円舞曲/チャールダーシュ/情景と人形の円舞曲/バラード/スラブ民謡と変奏曲) [指揮]サー・ゲオルグ・ショルティ[演奏]ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1979年12月31日ロイヤル・フェスティヴァル・ホール「ニューイヤール・イヴ・コンサート」、約14分
チェコ・フィルのドヴォルザーク『交響曲第3番』	12,15,16,21	楽団員の99%がチェコ人であるチェコ・フィルと、2012年に20年ぶりに首席指揮者として同楽団に戻ってきたチェコ人指揮者イルジー・ビエロフラーヴェクによる、21世紀新時代の「ドヴォルザーク交響曲全集」。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク:交響曲第3番変ホ長調Op.10,B.34 [指揮]イルジー・ビエロフラーヴェク[演奏]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2012年12月19日～21日「ルドルフィヌム」内ドヴォルザーク・ホール(ブラハ)[映像監督]アダム・レゼク ■約39分
チェコ・フィルのドヴォルザーク『新世界より』	22,23,24,26,27,28,29	チェコ・フィル本来の美しい響きはそのままで、これまでのチェコ・フィルの印象や先入観が一変されるスピード感と推進力、そして隅々までクリアでフレッシュなサウンド。	[演目]ドヴォルザーク:交響曲第9番ホ短調Op.95,B.178『新世界より』[指揮]イルジー・ビエロフラーヴェク[演奏]チェコ・フィルハーモニー管弦楽団[収録]2013年11月13日～15日「ルドルフィヌム」内ドヴォルザーク・ホール(ブラハ)約48分
ツィメルマンのショパン『舟歌』	10,12,13,14,15,	1987年、ウィーンで収録されたショパン最晩年の傑作の一つ『舟歌』。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン:舟歌嬰へ長調Op.60[ピアノ]クリスティアン・ツィメルマン[収録]1987年2月ローゼンヒューゲル(ウィーン)[映像監督]ハンフリー・バートン ■約11分
ティーレマン&ウィーン・フィル『ベートーヴェン:交響曲第7番』	30	ウィーン・フィルとして21世紀初のベートーヴェン交響曲全曲映像より交響曲第7番。会場は音楽の殿堂として名高いウィーン・フィルの本拠地ムジークフェラインザール。	[演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調Op.92 [指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]2009年11月ムジークフェラインザール(ウィーン)[映像監督]ミハエル・ベイヤー ■約44分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ティーレマン&シュターツカペレ・ドレスデン『ブルックナー：交響曲第9番』	15,16,17,19,20,21,22,25,	2015年5月バーデン=バーデン聖霊降臨祭音楽祭で、クリスティアン・ティーレマンと彼が首席指揮者を務めるシュターツカペレ・ドレスデンによるブルックナー最後の未完の交響曲第9番。	[演目]アントン・ブルックナー：交響曲第9番二短調WAB.109(アルフレート・オーレル校訂版) [指揮]クリスティアン・ティーレマン[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン [収録]2015年5月バーデン=バーデン祝祭歌劇場(バーデン=ヴェルテンベルク州)「バーデン=バーデン聖霊降臨祭音楽祭2015」[映像監督]アグネス・メス ■約1時間7分
ネルソンス&ウィーン・フィル「ザルツブルク音楽祭2018開幕公演」	1,4	2018年ザルツブルク音楽祭のオーケストラの開幕を飾った公演。マーラーの『復活』と、ホーカン・ハーデンベルガーによるツィンマーマンの「トランペット協奏曲」。	[演目]ベルント・アロイス・ツィンマーマン：トランペット協奏曲八長調『誰も知らない私の悩み』、グスタフ・マーラー：交響曲第2番八短調『復活』[指揮]アンドリス・ネルソンス[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送合唱団、ホーカン・ハーデンベルガー(トランペット)ルーシー・クロウ(ソプラノ)エカテリーナ・グバノヴァ(メゾ・ソプラノ)[合唱指揮]ハワード・アーマン[収録]2018年7月28日&29日ザルツブルク祝祭大劇場「ザルツブルク音楽祭2018」[映像監督]エリーザベト・マルツァー ■字幕/約1時間52分
バーンスタイン&ウィーン・フィル『ベートーヴェン：交響曲第7番』	9,10,12,13,14,15,16,18,	クラシック演奏史の金字塔として永遠に記憶されるバーンスタインのベートーヴェン全集。なかでもひととき強い光を放つ交響曲第7番。生命力あふれるリズムが疾走！	[曲目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op. 92 [指揮] レナード・バーンスタイン [管弦楽] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 1978年11月1日、ウィーン楽友協会大ホール(ライブ) [録音ディレクター] ジョン・マクルーア [映像監督] ハンフリー・パートン
バーンスタインのガーシュウィン『ラプソディ・イン・ブルー』	23	冒頭のクラリネットのグリッサンドが印象的なガーシュウインの最も有名な管弦楽曲。	[演目]ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー[指揮&ピアノ]レナード・バーンスタイン[演奏]ニューヨーク・フィルハーモニック[収録]1976年ロイヤル・アルバート・ホール(ロンドン)、約30分
ハイティンク&バイエルン放送響『ミサ・ソレムニス』	31	ベートーヴェンの庇護者でもあったルドルフ大公の大司教就任祝いとして着手された『ミサ・ソレムニス』は、冒頭に「心より出で - 願わくば再び - 心に向かうように」と記され、現在も世界中で愛されている。	[演目]ベートーヴェン：ミサ・ソレムニスOp.123(第1曲「キリエ」第2曲「グロリア」第3曲「クレド」第4曲「サンクトゥス」第5曲「アニュス・デイ」) [指揮]ベルナルト・ハイティンク[演奏]バイエルン放送交響楽団及び同合唱団、ゲニア・キューマイアー(ソプラノ)エリーザベト・クールマン(メゾ・ソプラノ)マーク・パドモア(テノール)ハンノ・ミュラー=ブラッハマン(バス・バリトン)アントン・バラコフスキー(ソロ・ヴァイオリン) [収録]2014年9月25日&26日ヘラクレスザール(ミュンヘン) 約1時間35分
パッパーノ&シュターツカペレ・ドレスデン「ラフマニノフ：交響曲第2番」	6,7,26,28	古都ドレスデン。街にゆかりの作品の豊かな歌を引き出して大成功を飾った、アントニオ・パッパーノの、古豪シュターツカペレ・ドレスデンへの見事なデビュー公演！	[演目]セルゲイ・ラフマニノフ：交響曲第2番ホ短調Op.27[指揮]サー・アントニオ・パッパーノ[演奏]シュターツカペレ・ドレスデン[収録]2018年7月8日～10日ゼンパー・オーパー(ドレスデン)[映像監督]ヤーノシュ・ダルヴァス ■字幕/1時間10分(番組枠)
バレンボイム&WEDO2012『ベートーヴェン：交響曲第7番』	23,24,26,27,28,29,30	イスラエルとパレスチナの若者がひとつの譜面台で隣り合う姿は平和への希望。2012年プロムスに登場したWEDOのベートーヴェン。バレンボイムは音楽に何を託すのか？	[曲目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op. 92 [指揮] ダニエル・バレンボイム [管弦楽] ウェスト=イースタン・ディヴァン管弦楽団 [収録] 2012年7月24日、ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] ロドニー・グリーンバーグ

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バレンボイム&WEDO2012『ベートーヴェン：田園』	1,4	巨匠ダニエル・バレンボイム(1942～)が目下最も精力的に取り組んでいるプロジェクトがウェスト=イースタン・ディヴァン管弦楽団です。	<p>[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 Op.68『田園』 [指揮] ダニエル・バレンボイム [管弦楽] ウェスト=イースタン・ディヴァン管弦楽団</p> <p>[収録] 2012年7月23日、ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール [映像監督] ジョナサン・ハズウェル</p> <p>■50分(番組枠)</p>
バレンボイム&シューターツカペレ・ベルリン「ブラームス交響曲全集」Vol.1	18,19,20,21,22,23,24,31	バレンボイムが手兵シューターツカペレ・ベルリンと共に故郷に凱旋。ブラームス交響曲第2番と第1番の重厚かつ濃密な演奏で、満場の聴衆のボルテージを上げる。	<p>[演目]</p> <p>ヨハネス・ブラームス：交響曲第2番 二長調Op.73 ヨハネス・ブラームス：交響曲第1番 八短調Op.68</p> <p>[指揮] ダニエル・バレンボイム [演奏] シューターツカペレ・ベルリン</p> <p>[収録] 2018年7月 キルヒナー文化センター(ブエノスアイレス) [映像監督] ティロ・クラウゼ</p>
バレンボイム&シューターツカペレ・ベルリン「ブラームス交響曲全集」Vol.2	25,26,27,28,29,30	バレンボイムの故郷で、手兵シューターツカペレ・ベルリンとのブラームス交響曲第3番と第4番を披露。かつてないほど自在で濃密な演奏で会場の興奮を誘う。	<p>[演目]</p> <p>ヨハネス・ブラームス：交響曲第3番 へ長調Op.90ヨハネス・ブラームス：交響曲第4番 ホ短調Op.98</p> <p>[指揮] ダニエル・バレンボイム [演奏] シューターツカペレ・ベルリン</p> <p>[収録] 2018年7月 キルヒナー文化センター(ブエノスアイレス) [映像監督] ティロ・クラウゼ</p>
バレンボイム&シューターツカペレ・ベルリン『ブルックナー：交響曲第1番』	4,5,6,7,8,9,10,17,18	バレンボイムとシューターツカペレ・ベルリンの四半世紀にわたる蜜月の集大成とも言えるブルックナー。初期交響曲の初々しい覇気が弾けるダイナミックな演奏！	<p>[曲目] アントン・ブルックナー：交響曲第1番 八短調 WAB.101(リンツ版)</p> <p>[指揮] ダニエル・バレンボイム [演奏] シューターツカペレ・ベルリン</p> <p>[映像監督] ジャン=ピエール・ロワジル [収録] 2017年1月5日、フィルハーモニー・ド・パリ</p> <p>■約54分</p>
バレンボイム&シューターツカペレ・ベルリン『ブルックナー：交響曲第2番』	11,12,13,14,15,16,17,24,25	四半世紀におよぶコンビ、バレンボイムとシューターツカペレ・ベルリンの阿吽の呼吸が生み出す繊細な抒情。近年人気が高まりつつある、ブルックナー第2交響曲の理想的公演！	<p>[曲目]アントン・ブルックナー：交響曲第2番八短調WAB.102(1877年版)</p> <p>[指揮]ダニエル・バレンボイム[演奏]シューターツカペレ・ベルリン[映像監督]ジャン=ピエール・ロワジル</p> <p>[収録]2017年1月6日、フィルハーモニー・ド・パリ</p> <p>■1時間1分</p>
バレンボイムのマーラー『交響曲第9番』	29,30	このコンビが同年秋に来日した際の演目でもあり、日本の音楽ファンにとってはその時の名演の記憶もまだ新しい。	<p>[演目]グスタフ・マーラー：交響曲第9番二長調</p> <p>[指揮]ダニエル・バレンボイム[演奏]シューターツカペレ・ベルリン</p> <p>[収録]2007年4月10日フィルハーモニー(ベルリン)[映像監督]アンドレアス・モレル</p> <p>■約1時間20分</p>

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ブクステフーデの「夕べの音楽」	15,16, 19,20	清澄で厳肅、幻想的な祈りに触れるひととき。バッハも尊敬した北ドイツの大家ブクステフーデの「夕べの音楽」を、ベルギーの精鋭古楽アンサンブルが再現。	[演目]ディートリヒ・ブクステフーデ：カンタータ『神よ、われを救いたまえ』BuxWV34／トリオ・ソナタ 短調BuxWV272～ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のための／コラール『来たれと天使に告げよ』BuxWV10／コラール『イエスはわが喜び』BuxWV60／トリオ・ソナタ 二長調BuxWV267～ヴィオラ・ダ・ガンバ、ヴィオロネと通奏低音のための／コラール『心よりわれ汝を愛す、おお主よ』BuxWV41／トリオ・ソナタ 変ロ長調BuxWV255～ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のための／シヤコンヌ『イエスはわが生命の命』BuxWV62／コラール幻想曲『暁の星のいと美しきかな』BuxWV223[音楽監督]オリヴィエ・フォルタン(チェンバロ&オルガン)&リオネル・ムニエ(バス)[演奏]アンサンブル・マスク、ヴォックス・ルミニス[収録]2017年聖アウグスティン教会「AMUZ音楽センター」(アントワープ、ベルギー)[映像監督]パトリック・ラウゼ ■ 1時間45分(番組枠)
フローレス「ザルツブルク・リサイタル2015」	1,2	「100年に1人のテノール」1973年ペルー生まれのフアン・ディエゴ・フローレスの2015年ザルツブルク音楽祭リサイタル。	[演目]ルッジェーロ・レオンカヴァッロ：四月/おいで、愛する人/マッティナータ(朝の歌)、フランチェスコ・パオロ・トスティ：魅惑/暁は光から/マレキアーレ、ジョアキーノ・ロッシーニ：歌劇『イタリアのトルコ人』～ド・ナルチーゾのレチタティーヴォとアリア「聞いた、ああ!全部聞いたぞ…私の計画を助けてください」、ガエタノ・ドニゼッティ：歌劇『ルクレツィア・ボルジア』～ジェンナーロのレチタティーヴォとアリア「私はここを去らねばならぬ…私はあなたを愛しています、人が天使を愛するように」、アンリ・デュバルク：悲しき歌/フィデレ/旅への誘い/ローズモントの館、シャルル・フランソワ・グノー：歌劇『ファウスト』～ファウストのアリア「この清らかな住まい」、ガエタノ・ドニゼッティ：歌劇『ランメルモールのルチア』～エドガルドのアリア「わが祖先の墓よ…やがてこの世に別れを告げよう」、コンスエロ・パラスケス：ペサメ・ムーチョ、ペドロ・ガリンド・ガラルサ/エルピディオ・ラミレス・ブルゴス：マラゲーニャ・サレローサ、アグスティン・ララ：グラナダ、ガエタノ・ドニゼッティ：歌劇『連隊の娘』～トニオのアリア「ああ、友よ…僕にとっては何という幸運」[テノール]フアン・ディエゴ・フローレス[ピアノ]ヴィンチェンツォ・スカレーラ[収録]2015年8月3日ザルツブルク祝祭大劇場(ザルツブルク)[ザルツブルク音楽祭2015][映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■ 字幕/約1時間29分
プロムシュテット&ウィーン・フィル「ベルワルドとドヴォルザーク」	4,16,2 9	2018年9月の定期演奏会で選んだのは、プロムシュテットと同郷、スウェーデンの作曲家ベルワルドの交響曲第3番「風変わりな交響曲」。	[演目] ベルワルド：交響曲第3番八長調「風変わりな交響曲」ドヴォルザーク：交響曲第7番二短調Op.70 B.141 [指揮] ヘルベルト・プロムシュテット[演奏] ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録] 2018年9月ムジークフェラインザール(ウィーン) 約1時間19分
ベーム&ポリーニ『モーツァルト：ピアノ協奏曲第19番』	26,27, 28,29, 30,	端正なスタイルと粒の揃ったタッチ、研ぎ澄まされた音色の美しさなど、ポリーニ34歳のクリアでシャープなピアノと、それを包み込む81歳のベームとウィーン・フィルの格調高く優美なサウンドは、まさにモーツァルトの王道といえるもの。	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ協奏曲第19番 長調K.459[指揮]カール・ベーム[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、マウツィオ・ポリーニ(ピアノ)[収録]1976年4月ムジークフェラインザール(ウィーン)[映像監督]フーゴー・ケヒ ■ 約32分
ベキネル姉妹&メータ『2台のピアノと打楽器のための協奏曲』	9,12,1 3,14,1 5,	最も成功した世界的ピアノ・デュオの切れ味が炸裂する興奮のバルトーク!メータ率いる手兵フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団も好サポート。	[演目]バルトーク・ベラ：2台のピアノと打楽器のための協奏曲BB.121,Sz.115[指揮]ズーピン・メータ[演奏]フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団、ギュヘル・ベキネル・&ジュヘル・ベキネル(ピアノ)ロレンツォ・ダットーマ、ファウスト・チェザーレ・ボンマルディエーリ(打楽器)[収録]2012年11月30日フィレンツェ新歌劇場(フィレンツェ五月音楽祭劇場)「メータ・フェスティバル」[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■ 35分(番組枠)

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ベルチャ四重奏団『ブラームス:弦楽四重奏曲第3番』	24,26,27,28,29,30	ベルチャ四重奏団がスイスのバーゼル音楽院「ジャズキャンパス」で収録されたブラームス弦楽四重奏曲全集(全3曲)より、一番明るく親しみやすい第3番。	[演目]ヨハネス・ブラームス:弦楽四重奏曲第3番変ロ長調Op.67 [演奏]ベルチャ四重奏団(第1ヴァイオリン:コリーナ・ベルチャ、第2ヴァイオリン:アクセル・シャハー、ヴィオラ:クシシュトフ・ホジェルスキー、チェロ:アントワーヌ・レデルラン) [収録]2015年8月28日ジャズキャンパス(バーゼル) [映像監督]フレデリック・ドゥレク ■約40分
ポゴレリチのショパン『ピアノ・ソナタ第2番』	2,28,30	一躍脚光を浴びた1980年ショパン・コンクールから7年後に収録されたポゴレリチ20代後半の瑞々しいショパンのピアノ・ソナタ第2番『葬送』。	[演目]フレデリック・フランソワ・ショパン:ピアノ・ソナタ第2変番ロ短調Op.35『葬送』[ピアノ]イーヴォ・ポゴレリチ[収録]1987年8月バドヴァ[映像監督]ホラント・H・ホールフェルト ■約29分
ポゴレリチのショパン『ポロネーズ第4番』	11,17,19,20,21,22	一躍脚光を浴びた1980年ショパン・コンクールから7年後に収録されたポゴレリチ20代後半の瑞々しいショパンのポロネーズ第4番。	[演目]ショパン:ポロネーズ第4番八短調op.40-2 [ピアノ]イーヴォ・ポゴレリチ [収録]1987年4月～5月レアレ・ディ・ラッコネージ城(トリノ近郊)、約10分
マイスキーのバッハ『無伴奏チェロ組曲第1番』	3,12,14	世界中で圧倒的な人気を誇るチェリスト、ミッシャ・マイスキー38歳の、彼にとっては唯一のバッハ『無伴奏チェロ組曲』映像がHDで蘇った。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番長調BWV.1007[チェロ]ミッシャ・マイスキー[収録]1986年10月～11月ヴィラ・カルドーニョ・ノルデラ(イタリア)[映像監督]ハンフリー・パートン&ホラント・H・ホールフェルト ■約21分
マイスキーのバッハ『無伴奏チェロ組曲第6番』	5,6,7,19,22,	世界中で圧倒的な人気を誇るチェリスト、ミッシャ・マイスキー38歳の、彼にとっては唯一のバッハ『無伴奏チェロ組曲』映像がHDで蘇った。	[演目]J・S・バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番長調BWV1007/無伴奏チェロ組曲第2番短調BWV1008/無伴奏チェロ組曲第3番八長調BWV1009/無伴奏チェロ組曲第4番ホ長調BWV1010/無伴奏チェロ組曲第5番八短調BWV1011/無伴奏チェロ組曲第6番二長調BWV1012 [チェロ]ミッシャ・マイスキー [収録]1986年10月～11月ヴィラ・カルドーニョ・ノルデラ(イタリア)、約38分
マリンスキーのニューイヤー・コンサート2007	16,19,20,21,22,	豊かに華麗に劇的に——ゲルギエフ&マリンスキー劇場管の黄金コンビとロシアの名手たちによる、劇場ゆかりの作品を集めたニューイヤー・コンサート。	[演目]ミハイル・グリンカ:歌劇『ルスランとリュドミラ』Op.5～序曲、エクトル・ベルリオーズ:交響曲『イタリアのハロルド』Op.16、ジュゼッペ・ヴェルディ:歌劇『運命の力』～序曲、リヒャルト・ワーグナー:歌劇『ローエングリン』～第3幕への前奏曲、ヨハン・シュトラウス2世:ポルカ『観光列車』Op.281、フランツ・リスト:ピアノ協奏曲第2番イ長調S.125,R.456、ニコライ・リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲Op.34、アレクサンドル・ポロデン:歌劇『イーゴリ公』～ポロヴェッツ人の踊り、セルゲイ・ラフマニノフ:交響曲第2番ホ短調Op.27～第2楽章、イーゴル・ストラヴィンスキー:バレエ『火の鳥』(1910年原典版)～「カスチエイの凶悪な踊り」「子守歌」「カスチエイの目覚めと死」「カスチエイの城と魔法の消滅」「石の騎士たちの復活」「フィナーレ」[指揮]ヴァレリー・ゲルギエフ[演奏]サンクトペテルブルク・マリンスキー劇場管弦楽団及び同合唱団、ユーリ・バシメット(ヴァイオリン)イェフィム・ブロンフマン(ピアノ)[合唱指揮]アンドレイ・ペトレニコ[収録]2007年1月1日マリンスキー劇場コンサートホール(サンクトペテルブルク)[映像監督]クロエ・ペルルミュテール ■字幕/約2時間11分



番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ミラノ・スカラ座「クリスマス・コンサート」 2018	2,21,28	注目の女性指揮者グラジニーテ=ティエラ&バーミンガム市響が今年もプロムスに登場!力を入れるヴァインベルク作品はじめ、「100年」記念の曲たちの個性を浮き彫りに。	[演目]ドロシー・ハウエル:音詩「ラミア」、エドワード・エルガー:チェロ協奏曲ホ短調op. 85、ミチスワフ・ヴァインベルク:「24の前奏曲」op. 100より第18番、オリヴァー・ナッセン:ヤンダー城への道 op. 21a、ミチスワフ・ヴァインベルク:交響曲第3番 op. 45 [指揮]ミルガ・グラジニーテ=ティエラ[演奏]シエク・カネー=メイソン(チェロ)バーミンガム市交響楽団 [収録]2019年8月22日 ロンドン、ロイヤル・アルバート・ホール ■約1時間42分
ミラノ・スカラ座2012『ヴェルディ:レクイエム』	31	アニヤ・ハルテロス、エリーナ・ガランチャ、ヨナス・カウフマン、ルネ・パーベといった豪華歌手陣にも目が離せない。	[演目]ジュゼッペ・ヴェルディ:レクイエム[指揮]ダニエル・バレンボイム[演奏]ミラノ・スカラ座管弦楽団及び同合唱団、アニヤ・ハルテロス(ソプラノ)エリーナ・ガランチャ(メゾ・ソプラノ)ヨナス・カウフマン(テノール)ルネ・パーベ(バリトン)[合唱指揮]ブルーノ・カゾーニ[収録]2012年8月ミラノ・スカラ座[映像監督]アンディ・ゾマー ■字幕/約1時間35分
ミンコフスキ&バルタバス「モーツァルトのレクイエム」	31	ミンコフスキとバルタバス、二人の鬼才が強力タッグを組んだ、人・馬・音楽の幽玄なコラボレーション。ミンコフスキの「モツレク」が聴けるのはこの映像だけ!	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:ミゼレーレ イ短調K.85、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:キャロライン王妃の葬送のためのアンセム『シオンの道は悲しみ』HWV.264、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:レクイエム 二短調K.626(ランドン版)/アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618[演出&振付]バルタバス[照明]ペルトラン・クデルク[出演]ヴェルサイユ馬術アカデミー[指揮]マルク・ミンコフスキ[演奏]ルーヴル宮音楽隊(レ・ミュージシャン・デュ・ルーヴル・グルノーブル)、ザルツブルク・パッサ合唱団、ゲニア・キューマイヤー(ソプラノ)エリーザベト・クールマン(アルト)ジュリアン・ペール(テノール)チャールズ・デカイザー(バス)[合唱指揮]アロイス・グラスナー[収録]2017年1月29日 & 31日フェルゼンライトシュレー(ザルツブルク)「モーツァルト週間2017」[映像監督]アンディ・ゾマー ■字幕/約1時間12分
メータ&LAフィル『スラヴ舞曲第8番』	7,6,20,21	『スラヴ舞曲』は、ドヴォルザークがピアノ連弾用に作曲した16曲からなる舞曲集で、後に作曲家自身により全曲が管弦楽用に編曲されました。	[演目]アントニン・ドヴォルザーク:スラヴ舞曲第8番ト短調Op.46-8,B.83-8[指揮]ズービン・メータ[演奏]ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1977年1月10日~13日ドロシー・チャンドラー・パヴィリオン、ミュージック・センター(ロサンゼルス) 約8分
ヤンソンス&バイエルン放送響『革命』 in プエノスアイレス	31	2014年5月のバイエルン放送交響楽団アメリカ大陸ツアーは南米アルゼンチンのプエノスアイレスから始まりました。この番組はその初日、コロソ劇場をソールドアウトにした首席指揮者マリス・ヤンソンスによるショスタコーヴィチの交響曲第5番『革命』です。	[演目]ドミートリイ・ショスタコーヴィチ:交響曲第5番二短調Op.47『革命』/歌劇『ムツェンスク郡のマクベス夫人』~間奏曲 [指揮]マリス・ヤンソンス[演奏]バイエルン放送交響楽団 [収録]2014年5月7日コロソ劇場(プエノスアイレス) [映像監督]ミヒャエル・ペイヤー ■約55分
ラヴェル:バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲	1,2		[演目]モーリス・ラヴェル:バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲 [指揮&映像監督]ヘルベルト・フォン・カラヤン[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [収録]1978年2月フィルハーモニー(ベルリン) ■約18分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
小澤征爾『カラヤン・メモリアル・コンサート』	31	2008年1月にベルリン、パリ、ルツェルン、ウィーンで行われたカラヤン生誕100年記念コンサートの最終日。	[演目] ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲二長調Op.61、ヨハン・セバスティアン・バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番二短調BWV.1004より「サラバンド」、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第6番ロ短調Op.74『悲愴』[指揮]小澤征爾[演奏]ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、アンネ=ゾフィー・ムター(ヴァイオリン)[収録]2008年1月28日ムジークフェラインザール大ホール(ウィーン)[映像監督]アグネス・メス ■約1時間54分
内田光子『モーツァルト：ピアノ協奏曲第13番』	13,14,15,16,17,18,19,20,25	モーツァルトの女王がモーツァルトの故郷の名門楽団を弾き振り。表情豊かに自由に羽ばたくモーツァルト演奏の真髄がここに	[ピアノ&指揮] 内田光子 [管弦楽] カメラータ・ザルツブルク [曲目] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ協奏曲第13番八長調K.415(カデンツァはモーツァルトのオリジナルを演奏) [収録] 2001年 ザルツブルク モーツァルテウム大ホール [映像監督] ホラント・H・ホールフェルト
内田光子『モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番』	20,21,22,23,24,25,26,27,	疾走する悲しみ——。現代最高のピアニストがモーツァルトの故郷の名門楽団と生み出すデモニッシュな奔流。	[ピアノ&指揮] 内田光子 [管弦楽] カメラータ・ザルツブルク [曲目] モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番二短調K.466 (カデンツァはベートーヴェン作のものを演奏) [収録] 2001年 ザルツブルク モーツァルテウム大ホール [監督] ホラント・H・ホールフェルト
ドキュメンタリー&エンターテイメント			
アーノンクールが語る『ブランデンブルク協奏曲第5番』	2,5,6,7,8,	当時50代前半のアーノンクールは精悍で若々しくエネルギッシュ。番組では第5番の楽曲分析と見どころを、実例を出しながらユーモアを交えてわかりやすく解説。	[出演]ニコラウス・アーノンクール[収録]1982年ヴィプリングン修道院図書館ホール(ウルム、ドイツ)[監督]クラウス・リンデマン[制作]1983年 ■字幕/約20分
イグデスマン&ジョーの『オーケストラ・ガイド』	15,16,17,19,20,21	先例のない音楽漫才コンビ「イグデスマン&ジョー」。二人が名門トーンハレ管弦楽団とともに「世界の歴史」と「楽器の歴史」を一挙に紹介する、爆笑のステージ。	[発案・台本・作曲・出演] イグデスマン&ジョー：アレクセイ・イグデスマン(ヴァイオリニスト・俳優)&ヒョンギ・ジョー(ピアニスト・俳優) [演奏] ジョシュア・ワイラースタイン(指揮)チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 [振付・演出] フェルディナンド・チェファロ [制作] 2018年チューリッヒ・トーンハレ(スイス) [映像監督] フリードリヒ・ガッツ ■字幕/約56分
クリスティアン・ティーレマン「私のR・シュトラウス」	12,24,26	シュターツカペレ・ドレスデン首席指揮者クリスティアン・ティーレマンのインタビューと『エレクトラ』『英雄の生涯』『ツァラトストラはかく語りき』『アルプス交響曲』『4つの最後の歌』といった彼のリハーサルやコンサートの抜粋で綴るドキュメンタリー。	[出演]クリスティアン・ティーレマン(指揮者)クリスティアン・シュトラウス(R・シュトラウスの孫)ブライアン・ギリアム(R・シュトラウスの伝記作家)バルバラ・フレイ(演出家)[監督]アンドレアス・モレル[制作]2014年 約55分
サイミール・ピルグ「音楽の中の真実」	3,5,11,13,14,	アバド、ムーティ、ヤンソンス、パヴァロッティ、ドミンゴらが認めた世紀の逸材。名実ともにオペラ界の頂点に立つスター・テノールの素顔と経歴に迫る。	[出演]サイミール・ピルグ(テノール)[監督]パオロ・アレオッティ&パオラ・ネッソ[制作]2017年 ■字幕/約54分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
ティーレマンと語るベートーヴェン『交響曲第7番』	27,28,29,30	1950年代より活躍する音楽評論家ヨハハム・カイザー(1928-)が、21世紀ウィーン・フィルの新しいベートーヴェン交響曲全集を完成させた指揮者クリスティアン・ティーレマンと共に、ベートーヴェン『交響曲第7番』の性格や特徴を討論。	[出演]ヨハム・カイザー(音楽評論家)クリスティアン・ティーレマン(指揮者)ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 他 [演目]ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調Op.92 [監督]クリストフ・エンゲル[制作]2010年 ■字幕/約1時間
ドキュメンタリー『カール・リヒターの遺言』	6,7,8,9,10,11,13,18,	54歳の若さで亡くなった20世紀最高のバッハ演奏家の生涯と音楽。若き日の『ゴルトベルク変奏曲』やロマン派音楽を指揮する姿など珍しい映像も満載。	[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ:ヨハネ受難曲BWV.245、マタイ受難曲BWV.244、ミサ曲短調BWV.232、ブランデンブルク協奏曲第5番二長調BWV.1050、カンタータ第70番『目覚めよ、祈れ』BWV.70、カンタータ第82番『われは満ち足りれ』BWV.82、ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタより、ゴルトベルク変奏曲BWV.988、トッカータとフーガ 二短調BWV.565、パッサカリアとフーガ 八短調BWV.582、前奏曲とフーガ ホ短調BWV.548、バルティータ『おお神よ、慈しみ深き神よ』BWV.767、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:王宮の花火の音楽、アントン・ブルックナー:交響曲第4番変ホ長調『ロマンティック』WAB.104、マックス・レーガー:パッサカリア へ短調Op.63-6、ヨハネス・ブラームス:合唱曲『祭典と記念の蔵言』Op.109/モテット『いかなれば艱難にある者に光を賜い』Op.74-1、ロベルト・アレクサンダー・シューマン:交響曲第4番二短調Op.120、クリストフ・ヴイリバルト・グルック:歌劇『タウリスのイフィゲニア』、アントニン・ドヴォルザーク:スターバト・マーテルOp.58,B.71 他より[出演]カール・リヒター、ミュンヘン・バッハ管弦楽団及び同合唱団、ディートリッヒ・フィッシャー=ディースカウ、オーレル・ニコレ他[製作]トビアス・リヒター[共同製作]クラウス・ベーター・リヒター[監督]クラウス・リンデマン[制作]1986年 ■字幕/約1時間17分
ドキュメンタリー『バッハ世俗的音楽集』	1,19,20,21,22,23,27	J・S・バッハの生涯と当時の音楽事情から、バッハの世俗音楽の真実とその魅力を明らかにする、ニコラウス・アーノンケールの解説番組。	[出演]ニコラウス・アーノンケール(話/指揮、ヴィオラ・ダ・ガンバ)ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、アリス・アーノンケール(ヴァイオリン)レオポルド・シュタストニー(フラウト・トラヴェルソ)イェルグ・ヘフトライン(バロックオーボエ)ヘルベルト・タヘツィ(チェンバロ)ジャネット・ペリー(ソプラノ)ロベルト・ホル(バス)[演目]ヨハン・セバスティアン・バッハ:管弦楽組曲第3番二長調BWV.1068〜「アリア(G線上のアリア)」[ジグ]/ブランデンブルク協奏曲第3番長調BWV.1048より/ブランデンブルク協奏曲第5番二長調BWV.1050〜第1楽章/クラヴィア独奏のための協奏曲二短調BWV.974(原曲:マルチエッロのオーボエ協奏曲二短調)/カンタータ第211番『お静かに、お喋りめさるな』(コーヒー・カンタータ)BWV.211より、アレクサンダー・マルチエッロ:オーボエ協奏曲二短調[監督]クラウス・リンデマン[制作]1984年 ■字幕/約57分
ドミンゴ『わが心のセビリア』	20,23	その類まれな表現力と豊かな美声、ギリシャ彫刻のような出で立ちで世界的人気を誇るスペイン出身のスーパースター、プラシド・ドミンゴが自ら案内役となり、セビリアを舞台にしたオペラの中から名シーン名アリアを、実在の美しい街路や歴史的建造物をバックに自ら歌い演じる!	[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:歌劇『ドン・ジョヴァンニ』〜シャンパンの歌「酔いがまわるまで宴会だ」、ジョアキーノ・ロッシニ:歌劇『セビリアの理髪師』〜フィガロとアルマヴィーヴァ伯爵の二重唱「金貨のことを考えると」、ジョルジュ・ビゼー:歌劇『カルメン』〜花の歌「お前の投げたこの花を」、ジュゼッペ・ヴェルディ:歌劇『運命の力』〜アルヴァーロのアリア「不幸なものにとって人生は地獄だ・・・天使たちの腕に抱かれて」、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:歌劇『フィデリオ』〜フロレスタンのレチタティーヴォとアリア「ああ何と暗いところだろう・・・人の世の美しき春にも」、マヌエル・ペネーリャ:サラスエラ『山猫』〜ソレアーとラファエルの二重唱「私を呼んでたの?ラファエル」、ジョルジュ・ビゼー:歌劇『カルメン』〜カルメンとドン・ホセの二重唱とフィナーレ「あなたね?・・・俺だ!」 [指揮]ジェイムズ・レヴァイン[演奏]ウィーン交響楽団、プラシド・ドミンゴ(テノール&バリトン)ヴァージニア・アロンソ(ソプラノ)ヴィクトリア・ヴェルガーラ(メゾ・ソプラノ)[コンセプト]ホラント・H・ホールフェルト[衣裳]ジャン=ピエール・ボネル[音声収録]1981年7月〜8月ブレゲンツ[映像収録]1981年12月セビリア[映像監督]ジャン=ピエール・ボネル ■字幕/約1時間1分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインのヤングピープルズコンサート10	28,29,30	バーンスタインが子供たちに楽しくクラシック音楽を解説する第10話は、ワーグナー、モーツァルト、ヒンデミット、ブラームスを題材に、音の連続で構成されたメロディーを解説。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第6番短調Op.74『悲愴』～第1楽章より、リヒャルト・ワーグナー：楽劇『トリスタンとイゾルデ』～前奏曲より、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：交響曲第40番短調K.550～第1楽章、パウル・ヒンデミット：弦楽と金管のための協奏音楽Op.50、ヨハネス・ブラームス：交響曲第4番短調Op.98～第4楽章[収録]フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1962年12月21日[映像監督]ロジャー・イングランド ■字幕／約54分
バーンスタインのヤングピープルズコンサート11	28,29,30	伝説のテレビ・シリーズ第11話は、ソナタ形式がテーマ。ベートルズのヒット曲を弾き語りし、交響曲やピアノ・ソナタを題材にしながら、「提示部」「展開部」「再現部」の構造と調性の関係を解説。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック、ヴェロニカ・タイラー(ソプラノ)[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：交響曲第41番八長調K.551『ジュピター』～第1楽章、ジョルジュ・ビゼー：歌劇『カルメン』～ミカエラのアリア「何を恐れることがありません」、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ピアノ・ソナタ第15番八長調K.545～第1楽章、セルゲイ・プロコフィエフ：交響曲第1番二長調Op.25『古典』～第4楽章[収録]フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1964年11月6日[映像監督]ロジャー・イングランド ■字幕／約55分
バーンスタインのヤングピープルズコンサート12	28,29,30	バーンスタインが「人生の中で最も誇りに思う仕事の一つ」と語る伝説のテレビ・シリーズの第12話は、収録当時の1965年に生誕100周年を迎えたフィンランドの作曲家シベリウスがテーマ。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮)ニューヨーク・フィルハーモニック、セルジウ・ルカ(ヴァイオリン)[演目]ジャン・シベリウス：交響詩『フィンランド』Op.26／ヴァイオリン協奏曲二短調Op.47～第1楽章／交響曲第2番二長調Op.43～第4楽章[収録]フィルハーモニック・ホール、リンカーン・センター(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1965年2月19日[映像監督]ロジャー・イングランド ■字幕／約54分
バーンスタインの『ヤング・ピープルズ・コンサート』第1話「音楽ってなに？」	7,8,9,10,12,13,14,18,	1958年から1972年までアメリカCBSで放映された伝説のテレビ・シリーズより、第1話は、クラシック音楽の楽しみ方がテーマ。専門的知識は必要なく、音楽そのものを心から味わうことが重要と語ります。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ジョアキーノ・ロッシニ：歌劇『ウィリアム・テル』～序曲、リヒャルト・シュトラウス：交響詩『ドン・キホーテ』Op.35、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：交響曲第6番長調Op.68『田園』～第1楽章&第2楽章、モデスト・ムソルグスキー(モリス・ラヴェル編曲)：組曲『展覧会の絵』～「テュイルリーの庭」「卵の殻をつけた雛の踊り」「キエフの大門」、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー：交響曲第4番短調Op.36～第1楽章／交響曲第5番短調Op.64～第4楽章、アントン・ヴェーベルン：管弦楽のための6つの小品Op.6、モリス・ラヴェル：ラ・ヴァルス[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1958年1月18日[映像監督]チャールズ・S・デュビン ■字幕／約1時間
バーンスタインのヤングピープルズコンサート2	7,8,9,10,12,13,14,18,	アメリカCBSで放映された伝説のテレビ・シリーズより、第2話はアメリカの作曲家の音楽のエッセンスを紹介。コーブランド自らが指揮する自作の『交響曲第3番』は貴重。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック、アーロン・コーブランド(指揮／作曲家)[演目]ジョージ・ガーシュウィン：パリのアメリカ人、ジョージ・ホワイトフィールド・チャドウィック：序曲『メルポメネー』、アントニン・ドヴォルザーク：交響曲第9番短調Op.95,B.178『新世界より』、エドワード・マクダウェル：組曲第2番短調Op.48『インディアン』、ヘンリー・フランクリン・ベルナップ・ギルバート：コンゴ広場の踊り、アーロン・コーブランド：劇場のための音楽、ジョージ・ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー、ウィリアム・シューマン：アメリカ祝典序曲、ロイ・ハリス：交響曲第3番、アーロン・コーブランド：バレエ『ペリー・ザ・キッド』組曲、ヴァージル・トムソン：われらすべての母、ランドール・トンブソン：交響曲第2番、アーロン・コーブランド：交響曲第3番～第4楽章[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1958年2月1日[映像監督]チャールズ・S・デュビン ■字幕／約1時間1分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインのヤングピープルズコンサート3	7,8,9,10,12,13,14,18,	23歳のアンドレア・パッティストーニがヴェルディの故郷ブッセートでヴェルディ初期のオペラを指揮した、2010年ヴェルディ・フェスティバル公演。	[出演]ジュヴァンニ・パッティスタ・パローディ(アッティラ/バス)スザンナ・ブランキーニ(オダベッラ/ソプラノ)ロベルト・デ・ピアージョ(フォレスト/テノール)セバステリアン・カターナ(エツィオ/バリトン)クリスティアーノ・クレモニーニ(ウルディーノ/テノール)ジャン・アトフェ(レオーネ/バス) [演目]ジュゼッパ・ヴェルディ:プロローグと3幕のドラマ・リーリコ『アッティラ』[台本]テミストクレ・ソレーラ、フランチェスコ・マリア・ピアーヴェ[原作] ツァハリアス・ヴェルナーの戯曲『フン族の王アッティラ』[演出]ピエルフランチェスコ・マエストリーニ[装置&衣裳]カルロ・サーヴィ[照明]ブルーノ・チュッリ [指揮]アンドレア・パッティストーニ[演奏]パルマ王立歌劇場管弦楽団及び同合唱団[合唱指揮]マルティーノ・ファッジャーニ[収録]2010年10月ヴェルディ劇場(ブッセート)[映像監督]ティツィアーノ・マンチーニ ■字幕/プロローグ&全3幕:約2時間
バーンスタインのヤングピープルズコンサート4	14,15,16,17,19,20,25	1958年から1972年までアメリカCBSで放映されたテレビ・シリーズより、第4話は、交響曲の名曲を例に、音楽は「展開」(テーマの成長と変化)で構成され、その手法が「反復と変奏」であることを解説。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:交響曲第41番ハ長調K.551『ジュピター』~第4楽章、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:交響曲第3番変ホ長調Op.55『英雄』~第4楽章、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー:交響曲第4番短調Op.36~第4楽章、ヨハネス・ブラームス:交響曲第2番二長調Op.73~第4楽章[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1958年12月13日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕/約1時間1分
バーンスタインのヤングピープルズコンサート5	14,15,16,17,19,20,25	日本にも大きな影響を与えたバーンスタイン伝説のテレビ・シリーズより、第5話は、「クラシック(古典)音楽」の定義と、バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの「古典派音楽」を解説。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル:『水上の音楽』第2組曲二長調HWV.349~ホーンパイプ、ヨハン・セバステリアン・バッハ:ブランデンブルク協奏曲第4番ト長調BWV.1049、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:ピアノ協奏曲第21番ハ長調K.467~第1楽章&第2楽章/歌劇『フィガロの結婚』K.492~序曲、フランツ・ヨーゼフ・ハイドン:交響曲第102番変ロ長調Hob. I -102~第4楽章、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:劇音楽『エグモント』Op.84~序曲[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1959年1月24日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕/約1時間
バーンスタインのヤングピープルズコンサート6	14,15,16,17,19,20,25	伝説のテレビ・シリーズ第6話は、音楽の中に表現された「ユーモア」「ジョーク」「ウィット」「風刺」「パロディー」「しゃれ」「ナンセンス」がテーマ。バーンスタインのエンターテイナーぶりが必見。  たちに優しく語りかけるアラフォーのバーンスタインが若くてカッコイイ!	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]ポール・ホワイト:蚊の踊り、フランツ・ヨーゼフ・ハイドン:交響曲第88番ト長調Hob. I -88『V字』~第4楽章、セルゲイ・プロコフィエフ:交響曲第1番二長調Op.25『古典』~第1楽章&第3楽章、グスタフ・マーラー:交響曲第1番二長調『巨人』~第3楽章、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:音楽の冗談K.522、ドミートリイ・ショスタコーヴィチ:バレエ『黄金時代』組曲Op.22a~ボルカ、アーロン・コープランド:劇場のための音楽~ブルレスク、ヨハネス・ブラームス:交響曲第4番ホ短調Op.98~第3楽章[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1959年2月28日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕/約1時間1分
バーンスタインのヤングピープルズコンサート7	21,22,23,24,26,27	バーンスタイン自らが子供たちに楽しくわかりやすくクラシック音楽を解説する第7話は協奏曲がテーマ。当時のコンサートマスター、ジョン・コリアーノのヴァイオリン・ソロの姿も貴重。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ハーブシコード)ニューヨーク・フィルハーモニック、ジョン・コリアーノ(ヴァイオリン)ジョン・ウーマー(フルート)ウィリアム・リンサー(ヴィオラ)[演目]アントニオ・ヴィヴァルディ:協奏曲ハ長調RV.558~第1楽章、ヨハン・セバステリアン・バッハ:ブランデンブルク協奏曲第5番二長調BWV.1050~第3楽章、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト:協奏交響曲変ホ長調K.364~第2楽章、フェリックス・メンデルスゾーン=バルトルディ:ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64~第3楽章、バルトーク・ペラ:管弦楽のための協奏曲Sz.116~第4楽章&第5楽章[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1959年3月28日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕/約1時間1分

番組名	放送日	概要	曲目、出演者等
バーンスタインのヤングピープルズコンサート8	21,22,23,24,26,27	クーベリックがウィーン・フィルを振る指揮姿のみならず、ゲルハルト・ヘツェル、ウェルナー・ヒンク、21歳のライナー・キュヒルの姿にも注目したい。	[演目]アントン・ブルックナー:交響曲第4番変ホ長調『ロマンティック』WAB.104[指揮]ラファエル・クーベリック[演奏]ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団[収録]1971年1月12日～14日ムジークフェラインザール(ウィーン)[映像監督]アルネ・アルンボム ■約1時間9分
バーンスタインのヤングピープルズコンサート9	21,22,23,24,26,27	ドビュッシーの交響詩『海』をテーマに、子供たちに印象主義を説明する40代のバーンスタイン。全音階や旋法、複調性の解説もわかりやすい。バーンスタインのピアノの上手さも印象的。	[出演]レナード・バーンスタイン(お話・指揮・ピアノ)ニューヨーク・フィルハーモニック[演目]クロード・ドビュッシー:交響詩『海』(第1楽章「海の夜明けから真昼まで」第2楽章「波の戯れ」第3楽章「風と海の対話」)、モーリス・ラヴェル:バレエ『ダフニスとクロエ』第2組曲～全員の踊り[収録]カーネギー・ホール(ニューヨーク)[オリジナル放映日]1961年12月1日[映像監督]ロジャー・イングラダー ■字幕/約57分
ポートレート「ズービン・メータ」	9,12,13,14,15,	2016年に80歳を迎えた現代の巨匠メータに密着取材。多くの友人たちの証言を得て、その音楽と人生の来た道を辿るドキュメンタリー。貴重映像も満載!	[出演]ズービン・メータ 他[監督]ベッティナ・エールハルト[制作]2016年 ■字幕/1時間40分(番組枠)
ポートレート「振付家マーティン・シュレプファー」	30	次期ウィーン国立バレエ芸術監督マーティン・シュレプファーの振付作品とダンサーとしての姿、挑戦を続ける彼の創造の源とその思想、日常生活までも紹介。	[出演]マーティン・シュレプファー(振付家・ダンサー)ハンス・ファン・マーネン(振付家)ゲルト・ヴァイゲルト(写真家)クリストフ・マイヤー(ドイツ・ライン歌劇場総支配人)アンネ・ド・バソ(劇作家)アドリアーナ・ヘルツキー(作曲家)他[主な演目]ハンス・ファン・マーネン振付『日常』、マーティン・シュレプファー振付『深宇宙』『森、湖』『ブラムス - 交響曲第2番』『五重奏曲「ます」』[監督]アネット・フォン・ヴァンゲンハイム[制作]2015年 ■字幕/1時間35分(番組枠)
わが友グスタフ・マーラー ～ナターリエの日記	3,5,6,7,8,9	彼女の名は、ヴァイオラ奏者ナターリエ・パウアー＝レヒナー(1858-1921)。マーラー15歳の時、2人はウィーンの音楽学校で出会った。以来、ナターリエは彼が指揮する場所に足を運び、新作の初演に立会うなど、マーラーがアルマと結婚するまでの彼の心の支えとなった。彼女はマーラーの日常や活躍を日記に書き残しており、この番組はその個人的な日記を忠実に映像化したもの	[出演]ペトラ・モルゼ(ナターリエ・パウアー＝レヒナー)、アディナ・フェッター(若き日のナターリエ)、ロバート・リッター(グスタフ・マーラー)、ステファン・レオンハルトツベルガー(若き日のグスタフ)、ニコラス・フツァー(ジークフリート・リヒナー)、ペーター・ホッフペラー(エンゲルベルト・ペルネルストルファー)、ハインス・A・ペンドル(ヴィクトル・アドラー)、トビアス・フォクト(フーゴー・ヴォルフ)、アルマ・ハスン(アルマ・シントラー)、ブロンウィン・メルツ＝ペンツィンガー(ナターリエの声)、ミハエル・スメリク(マーラーの声)、ヨハンナ・ゴドウィン＝ジードル(アルマの声)、デニス・コジエルフ(ナレーター) 他 [監督&脚本]ベアテ・タルバーク [制作]2010年オーストリア/ドイツ/スイス約1時間1分
巨匠たちのパイロイト・リハーサル	1	ヴィーラント・ワーグナー、ハンス・クナーパッツブッシュ、アンドレ・クリュイタン、カール・ベームやオトマル・スウィトナーなど1960年代パイロイト音楽祭のリハーサル風景。	[出演]ヴィーラント・ワーグナー、ハンス・クナーパッツブッシュ、アンドレ・クリュイタン、カール・ベーム、オトマル・スウィトナー、ヴィルヘルム・ピッツ 他 [監督]ヴェルナー・リュティエ[制作]2001年 ■字幕/約1時間